科目名	PA Basic(1)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	西海 英志 須藤 浩 原嶋 紘平 杉田 達矢
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	90 (6単位)		
教員の略歴	PAエンジニア/オペレーターとして活動						
授業の学習内容	実践を通じ、PAエンジニアとして必要になる基礎的な機材知識、信号の流れ、電気について、機材のセッティングからサウンドチェック・ライブ本番・撤収までの流れを理解する。						
到達目標	信号の流れを理解し、簡易PAセットを組めるようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	自己紹介(コミュニケーション)/マイクスタンド立て/機材の扱いを学ぶ	レポート
2	4月21日	講義・演習	マイクスタンドを立て、マイクヘッド付けを学ぶ/分解して組み立てる事で仕組みを学ぶ	前週内容の復習
3	5月12日	講義・演習	コネクターの種類を学ぶ/簡易セットに使用する機材を学ぶ	前週内容の復習
4	5月19日	講義・演習	基本的な簡易セットの設営・チェック・撤去を学ぶ	前週内容の復習
5	5月26日	講義・演習	EQ/マルチを追加した簡易セットの設営・チェック・撤去を学ぶ	前週内容の復習
6	6月2日	講義・演習	イベント内容を理解し、シミュレーションする	前週内容の復習
7	6月9日	講義・演習	機材リセットについて理解する	前週内容の復習
8	6月16日	講義・演習	ステージモニターとエフェクターを追加した簡易セットの設営・チェック・撤去を学ぶ	前週内容の復習
9	6月23日	講義・演習	簡易セットを組む＞1～4週目の復習	前週内容の復習
10	6月30日	講義・演習	搬入・仕込み・リハーサル・本番・撤去について学ぶ他のセクションの動きを意識する	前週内容の復習
11	7月7日	講義・演習	少人数で設置・チェック・撤去する	前週内容の復習
12	7月14日	講義・演習	マルチウェイスピーカーを学ぶ	前週内容の復習
13	8月25日	講義・演習	試験	前週内容の復習
14	9月8日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台音響を学ぶ	レポートの提出
15	9月15日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台音響を学ぶ	レポートの提出
準備学習　時間外学習			音が流れる仕組みを理解し、その理由を考える	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	PA Basic(2)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	西海 英志 須藤 浩 原嶋 紘平 杉田 達矢
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	120 (8単位)		
教員の略歴	PAエンジニア/オペレーターとして活動						
授業の学習内容	実践を通じ、PAエンジニアとして必要になる基礎的な機材知識、信号の流れ、電気について、機材のセッティングからサウンドチェック・ライブ本番・撤収までの流れを理解する。						
到達目標	学内ライブにて、バンドのライブ本番のPAオペレートを行えるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	ハウスミキサー・モニター・ステージに分かれて設置を学ぶ	レポート
2	10月13日	講義・演習	学校所有のデジタル卓、他の卓を理解し、設置方法を学ぶ	前週内容の復習
3	10月20日	講義・演習	学校所有のデジタル卓、他の卓を理解し、使い方を知る	前週内容の復習
4	10月27日	講義・演習	学校所有のワイヤレスマイクについて学ぶ	前週内容の復習
5	11月3日	講義・演習	スピーカーチューニング(技法)を学ぶ	前週内容の復習
6	11月10日	講義・演習	エフェクター・ダイナミック系の設営を学ぶ	前週内容の復習
7	11月17日	講義・演習	サウンドチェックの流れを学ぶ (ライブ本番実習の為のプレ授業)	前週内容の復習
8	11月24日	講義・演習	バンド(Vo+Gt+Ba+Dr+Key)のサウンドチェック・本番を学ぶ	前週内容の復習
9	12月1日	講義・演習	イベントに向けてプラン組みを実践	前週内容の復習
10	12月8日	講義・演習	イベントに向けてのシステムチェックの実践	前週内容の復習
11	12月15日	講義・演習	イベントの本番・撤収作業を通じて、音響スタッフとして現場力を身に付ける	前週内容の復習
12	1月12日	講義・演習	イベントの本番・撤収作業を通じて、音響スタッフとして現場力を身に付ける	前週内容の復習
13	2月2日	講義・演習	試験	前週内容の復習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して舞台音響を学ぶ	レポートの提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して舞台音響を学ぶ	レポートの提出
準備学習　時間外学習			音が流れる仕組みを理解し、その理由を考える	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	照明概論(1)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	林　之弘
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	照明実務経験42年、日本照明家協会1級技能士						
授業の学習内容	①職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につける ②照明概論 ③現場のルールとともに舞台照明に関する知識と技能を習得する。						
到達目標	舞台照明に関する基礎知識を習得し、学校の機材名、役割がわかる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	ガイダンス/授業の受け方、ポイント等の説明	初回につき準備無し
2	4月24日	講義・演習	作品に携わる主要メンバーとデザイナーの仕事	テキスト　P1～P6
3	5月8日	講義・演習	安全知識　（ヘルメット・脚立）	テキスト　P12、P13、P27、P175～P182
4	5月15日	講義・演習	機材知識1　フラッドライト、スポットライトが理解できる	テキスト　P15～P17
5	5月22日	講義・演習	機材知識2　プロファイルスポット、ノンレンズスポット、パーライトが理解できる	テキスト　P18～P29
6	5月29日	講義・演習	機材知識3　ムービングライト、効果機が理解できる	ムービングライトについて調査する
7	6月5日	講義・演習	機材知識4　電球、フィルター、ゴボ、ケーブル知識が理解できる	実習スタジオの機材に使われる電球とケーブルを調査する
8	6月12日	講義・演習	舞台機構が理解できる	テキスト　P35～P42
9	6月19日	講義・演習	舞台照明設備が理解できる①	テキスト　P42～P45
10	7月3日	講義・演習	舞台照明設備が理解できる②	テキスト　P45～P49
11	7月10日	講義・演習	舞台照明の仕事1	テキスト　P58～P65
12	7月17日	講義・演習	舞台照明の仕事2	テキスト　P66～P73
13	8月21日	講義・演習	前期テスト	これまでの復習
14	8月28日	講義・演習	電気知識（ケーブルについて）	テキスト　P166～P174
15	9月11日	講義・演習	作品鑑賞　コンサート	事前準備無し
準備学習　時間外学習			教室外でも一人で進められる調査研究を時間外学習として進めます。	

【使用教科書・教材・参考書】

舞台・テレビジョン照明＜基礎編＞2021

科目名	照明概論(2)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	林　之弘
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	照明実務経験42年、日本照明家協会1級技能士						
授業の学習内容	①職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につける ②照明概論 ③現場のルールとともに舞台照明に関する知識と技能を習得する。						
到達目標	学校機材の準備ができるよう仕込み図の理解と機材の扱い方がわかる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	仮設現場1	テキスト　P73～P78
2	10月16日	講義・演習	仮設現場2	テキスト　P79～P87
3	10月30日	講義・演習	照明をコントロールする仕組み1	テキスト　P121～P124
4	11月6日	講義・演習	照明をコントロールする仕組み2	テキスト　P124～P126
5	11月13日	講義・演習	照明をコントロールする仕組み3	テキスト　P126～P132
6	11月20日	講義・演習	仕込み図を読む/仕込み図から情報を読み取る	テキスト　P59～P61(持ち物:テンプレート)
7	11月27日	講義・演習	仕込み図を作ろう/基本仕込みが書ける	テキスト　P59～P61(持ち物:テンプレート)
8	12月4日	講義・演習	作品鑑賞　ミュージカル作品	観賞作品選び
9	12月11日	講義・演習	後期まとめ授業	後期講義の復習
10	12月18日	講義・演習	後期まとめテスト	後期講義の復習
11	1月15日	講義・演習	照明実務1 公演準備	進級制作展資料（仕込図・進行表など）
12	1月22日	講義・演習	照明実務2 仕込み図を読む/図面を読解できる	進級制作展資料（仕込図・進行表など）
13	2月5日	講義・演習	照明実務3 ピンスポット・フォロー/基本動作ができる	進級制作展資料（仕込図・進行表など）
14	2月12日	講義・演習	進級公演準備（We are TSM!）を通し舞台照明を学ぶ	進級制作展資料（仕込図・進行表など）
15	2月19日	講義・演習	進級公演準備（We are TSM!）を通し舞台照明を学ぶ	進級制作展資料（仕込図・進行表など）
準備学習　時間外学習			教室外でも一人で進められる調査研究を時間外学習として進めます。	

【使用教科書・教材・参考書】

舞台・テレビジョン照明＜基礎編＞2021

科目名	舞台概論(1)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	飯塚幸之介
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	舞台制作・舞台監督として数々の現場を担当。						
授業の学習内容	舞台についての基礎を学ぶ スタッフの業務内容を学ぶ						
到達目標	舞台制作の基礎を身につける 舞台制作に必要な知識を理解する						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	オリエンテーション　舞台概論とは何かを理解する。	レポート
2	4月21日	講義・演習	劇場・ホールの歴史を理解する。	レポート
3	5月12日	講義・演習	劇場・ホールの仕組みを理解する①	レポート
4	5月19日	講義・演習	劇場・ホールの仕組みを理解する②	レポート
5	5月26日	講義・演習	舞台監督の業務内容を理解する①	レポート
6	6月2日	講義・演習	舞台監督の業務内容を理解する②	レポート
7	6月9日	講義・演習	尺貫法を理解する	レポート、学園祭の資料作成
8	6月16日	講義・演習	舞台美術について学ぶ①	発表
9	6月23日	講義・演習	舞台美術について学ぶ②	レポート
10	6月30日	講義・演習	図面を理解する	普段使っている物のサイズを測ってみる
11	7月7日	講義・演習	スタッフの業務内容を理解する①	レポート
12	7月14日	講義・演習	スタッフの業務内容を理解する②	レポート
13	8月25日	講義・演習	制作の業務内容を理解する①	レポート
14	9月8日	講義・演習	制作の業務内容を理解する②	レポート
15	9月15日	講義・演習	プロデューサー、イベンターの仕事内容を理解する①	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	舞台概論(2)	必修選択	選択必修	年次	1	担当教員	飯塚幸之介
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	舞台制作・舞台監督として数々の現場を担当。						
授業の学習内容	演出機材の基礎を学ぶ スタッフの業務内容を学ぶ 舞台を作り上げていく上での考え方を学ぶ						
到達目標	舞台制作の基礎を身につける 舞台制作に必要な知識を理解する						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	前期を振り返り、後期の目標を立てる	レポート
2	10月13日	講義・演習	プロデューサー、イベンターの仕事内容を理解する②	レポート
3	10月20日	講義・演習	照明、音響、電飾などの機材について理解する①	レポート
4	10月27日	講義・演習	照明、音響、電飾などの機材について理解する②	レポート
5	11月3日	講義・演習	機構、特効の機材について理解する	レポート
6	11月10日	講義・演習	映像について理解する①	レポート
7	11月17日	講義・演習	映像について理解する②	レポート
8	11月24日	講義・演習	映像について理解する③	レポート
9	12月1日	講義・演習	いろいろな楽器と編成を理解する	レポート
10	12月8日	講義・演習	実際のイベントを元に舞台監督の準備を学ぶ①	レポート
11	12月15日	講義・演習	実際のイベントを元に舞台監督の準備を学ぶ②	レポート
12	1月19日	講義・演習	脚本を理解する①	レポート
13	2月2日	講義・演習	脚本を理解する②	レポート
14	2月9日	講義・演習	演出について学ぶ①	レポート提出
15	2月16日	講義・演習	演出について学ぶ②	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	コンサートテクニック(1) Concert PA Technique（1）	必修選択	選択	年次	1	担当教員	西海 英志 須藤 浩 原嶋 紘平 杉田 達矢
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	90 （6単位）		
教員の略歴	PAエンジニア/オペレーターとして活動						
授業の学習内容	イベントの1日の流れを把握し、他のセクションとコミュニケーションをとりながら音響だけではなく、他の動きも把握し、イベントによって異なる音響を学ぶ						
到達目標	仕込み・RH・本番・バラシまでに1日の流れの把握・プラン表や当日までの資料作りが出来るようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	ライブ・PA実践、仕込みについて理解する	プラン作り・打ち合わせ
2	5月13日	講義・演習	外部ホールの構造を理解する	プラン作り・打ち合わせ
3	5月20日	講義・演習	バンド系イベントのPAについて理解する	プラン作り・打ち合わせ
4	5月27日	講義・演習	外部ホールの構造を理解する	プラン作り・打ち合わせ
5	6月3日	講義・演習	バンド系イベントのPAについて理解する	プラン作り・打ち合わせ
6	6月10日	講義・演習	外部ホールの構造を理解する	プラン作り・打ち合わせ
7	6月17日	講義・演習	学内イベント　他セクションとのイベントを行う	プラン作り・打ち合わせ
8	6月24日	講義・演習	外部ホールの構造を理解する	プラン作り・打ち合わせ
9	7月1日	講義・演習	オムニバス形式のライブPAについて理解する	プラン作り・打ち合わせ
10	7月8日	講義・演習	演劇音響について理解する	プラン作り・打ち合わせ
11	7月15日	講義・演習	バンドライブPAについて理解する	プラン作り・打ち合わせ
12	7月22日	講義・演習	カラオケ音源のLIVE PAについて理解する	プラン作り・打ち合わせ
13	8月26日	講義・演習	アイドルイベントの実践 前期試験	前期復習
14	9月9日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台音響を学ぶ	レポート提出
15	9月16日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台音響を学ぶ	レポート提出
準備学習　時間外学習			「伝えること」を目的としたプラン組　ベストな機材選定	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	コンサートテクニック(1) Concert LT Technique(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	川谷祐之
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)		
教員の略歴	舞台照明プランナー・オペレーターとして活動						
授業の学習内容	ただ華やかというだけでなく、他のセクションと密接にかかわり、照明を構成することを理解する						
到達目標	舞台照明というものを華やかなものと理解しがちだが、ただ華やかなだけでなく、キャストを引き立たせ、観客を喜ばせるために、ソロ・バンド・アイドル・ダンス・ミュージカル等、演目によって魅せ方をかえ、イベントに合った明りを理解できるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	自己紹介～機材・システムツアー 簡単な仕込み実習	照明機材仕込み
2	5月13日	講義・演習	ホールの仕組みを理解する	資料解読(ホール実習)
3	5月20日	講義・演習	照明に携わってみる。人の作った照明を感じる。	照明機材仕込み(音テクイベント)
4	5月27日	講義・演習	ホールで簡単な照明の仕事ができるようになる	仕込み図解読・仕込打ち合わせ(ホール実習)
5	6月3日	講義・演習	基本知識での照明を作る	課題曲に対する譜割り(プロミイベント)
6	6月10日	講義・演習	ホールで簡単な照明の仕事ができるようになる2	仕込み図解読・仕込打ち合わせ(ホール実習)
7	6月17日	講義・演習	テーマ合った照明を作る	課題曲に対する譜割り(自主企画イベント)
8	6月24日	講義・演習	ホールで簡単な照明の仕事ができるようになる3	仕込み図解読・仕込打ち合わせ(ホール実習)
9	7月1日	講義・演習	テーマ合った照明を作る2	課題曲に対する譜割り(自主企画イベント)
10	7月8日	講義・演習	自分のアイディアを織り交ぜた照明を作る	課題曲に対する譜割り(自主企画イベント)
11	7月15日	講義・演習	アニソンの照明を作る	課題曲に対する譜割り(アクターliveゼミ)
12	7月22日	講義・演習	仕込図を描く上で基本的な考え方 照明を考えるときの基本的な考え方	照明機材仕込み(学園祭シミュレーション)
13	8月26日	講義・演習	前期で習得した技術をすべて盛り込んだ照明を披露する	照明機材仕込み・打ち込み(プロミイベント)
14	9月9日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して照明演出を学ぶ	レポート
15	9月16日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して照明演出を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習			闇雲に仕込むのではなく、照明効果を意識する	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	コンサートテクニック(1) Concert STAGE Technique(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	井上陽介
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間(単位)	120 (8単位)		
教員の略歴	舞台監督として活動						
授業の学習内容	舞台制作、進行、演出、施工等を講義と実践的に学び、体験しそれぞれ自分の目的や適合性を考える。 現場のシミュレーション体験を通じて社会のルールやマナー、チームワークや厳しさ、楽しさを学ぶ事を目指します。						
到達目標	授業を通じて団体行動、情報収集、技術的な能力を身に付け、スキルアップを目指す。 また細分化された業種の中から自分に何が合っているかを見つける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	オリエンテーション、コミュニケーション、注意事項、 軽作業、概要説明	生徒同士での情報交換、コミュニケーション
2	5月13日	講義・演習	舞台の業務内容、危険回避、事故例などを知り、理解する	資料の整理、作成
3	5月20日	講義・演習	資料の作成、過去のイベントの資料整理や確認する	資料の整理、作成
4	5月27日	講義・演習	外部ホールの予習、資料作り 舞台の基本を理解する	資料の整理、作成
5	6月3日	講義・演習	外部ホール　実際の舞台機構を理解する	工具や必要品の準備など
6	6月10日	講義・演習	外部ホールの復習し、理解を深める	課題の確認、不明点の確認など
7	6月17日	講義・演習	外部ホールの課題を確認する	工具や必要品の準備など
8	6月24日	講義・演習	校内イベントを通して資料を制作する	資料の整理、作成
9	7月1日	講義・演習	校内イベントの振り返りし、理解を深める	課題の確認、不明点の確認など
10	7月8日	講義・演習	外部ホールの予習、資料作り　舞台機構の応用を理解する	資料の整理、作成
11	7月15日	講義・演習	外部ホール 実際の舞台での作業をする	工具や必要品の準備など
12	7月22日	講義・演習	外部ホールの課題確認をし、問題点をあげる	課題の確認、不明点の確認など
13	8月26日	講義・演習	テスト	課題の確認、不明点の確認など
14	9月9日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台演出を学ぶ	レポート
15	9月16日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台演出を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習			各週授業にのぞむための予習もしくは授業後の復習として取り組むこと	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	コンサートテクニック(2) Concert PA Technique（2）	必修選択	選択	年次	1	担当教員	西海 英志 須藤 浩 原嶋 紘平 杉田 達矢
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	90 （6単位）		
教員の略歴	PAエンジニア/オペレーターとして活動						
授業の学習内容	イベントの1日の流れを把握し、他のセクションとコミュニケーションをとりながら音響だけではなく、他の動きも把握し、 イベントによって異なる音響を学ぶ						
到達目標	仕込み・RH・本番・バラシまでに1日の流れの把握・プラン表や当日までの資料作りが出来るようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	次週のシミュレーション・打ち合わせを行う	プラン作り・打ち合わせ
2	10月21日	講義・演習	バンドライブのPAについて理解する	プラン作り・打ち合わせ
3	10月28日	講義・演習	ヴォーカル＆ダンスライブのPAについて理解する	プラン作り・打ち合わせ
4	11月4日	講義・演習	仕込みプランの講評を行う	プラン作り・打ち合わせ
5	11月11日	講義・演習	オムニバス形式のライブPAについて理解する	プラン作り・打ち合わせ
6	11月18日	講義・演習	バンドライブのPAについて理解する	プラン作り・打ち合わせ
7	11月25日	講義・演習	バンドライブPAについて理解する	プラン作り・打ち合わせ
8	12月2日	講義・演習	バンド課題楽曲に対するオペレート①オペ卓を触る	プラン作り・打ち合わせ
9	12月9日	講義・演習	システムチェックについて理解する	プラン作り・打ち合わせ
10	12月16日	講義・演習	バンド課題楽曲に対するオペレート②モニター卓を触る	プラン作り・打ち合わせ
11	1月13日	講義・演習	システムチェックについて理解する	プラン作り・打ち合わせ
12	1月20日	講義・演習	外部ホールでのダンスPAについて理解する	プラン作り・打ち合わせ
13	2月3日	講義・演習	バンド課題楽曲に対するオペレート②モニター卓を触る	プラン作り・打ち合わせ
14	2月10日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して舞台音響を学ぶ	レポート提出
15	2月17日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して舞台音響を学ぶ	レポート提出
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	コンサートテクニック(2) Concert LT Technique（2）	必修選択	選択	年次	1	担当教員	川谷祐之
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	90 （6単位）		
教員の略歴	舞台照明プランナー・オペレーターとして活動						
授業の学習内容	前期で学んだことに加え、曲に合ったメリハリ、緩急を実際の照明で表現できるようにする						
到達目標	各イベントに合った照明を作れるようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	仕込みアレンジ・特殊仕込みを考える	仕込み図解読
2	10月21日	講義・演習	前期で学んだことをすべて盛り込んで照明を作る	仕込み・譜割り・明り作り
3	10月28日	講義・演習	曲に対する自分のイメージを明りで表現する	仕込み・譜割り・明り作り
4	11月4日	講義・演習	同じ課題曲で照明を作り人の感性を感じる	照明機材仕込み・打ち込み
5	11月11日	講義・演習	メリハリをつけた照明でショーパッケージに関わる	仕込み・譜割り・明り作り
6	11月18日	講義・演習	ショー全体を考えて、自分の担当部分の照明を構成する	仕込み・譜割り・明り作り
7	11月25日	講義・演習	ショー全体を考えて、自分の担当部分の照明を構成する	課題曲に対する譜割り
8	12月2日	講義・演習	ショー全体を考えて、 自分の担当部分の照明を構成する②	仕込み・譜割り・明り作り
9	12月9日	講義・演習	メリハリをつけたアニソン照明を作る	仕込み・譜割り・明り作り
10	12月16日	講義・演習	イベント実践（we are TSM）を通して舞台照明を学ぶ	仕込み・譜割り・明り作り
11	1月13日	講義・演習	イベントのための事前準備打ち込み	仕込み・譜割り・明り作り
12	1月20日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して舞台照明を学ぶ	課題曲に対する譜割り
13	2月3日	講義・演習	自由に作った照明のダメ出し、作り直し・違いを体感	照明機材仕込み・打ち込み
14	2月10日	講義・演習	1年間で身につけた技術を使って自由に照明を作る	照明機材仕込み・打ち込み
15	2月17日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して舞台照明を学ぶ	課題曲に対する譜割り・練習
準備学習　時間外学習			闇雲に仕込むのではなく、照明効果を意識する	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	コンサートテクニック(2) Concert SATGE Technique（2）	必修選択	選択	年次	1	担当教員	井上　陽介
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	120 （8単位）		
教員の略歴	舞台監督として活動						
授業の学習内容	舞台制作、進行、演出、施工等を講義と実践的に学び、体験しそれぞれ自分の目的や適合性を考える。 現場のシミュレーション体験を通じて社会のルールやマナー、チームワークや厳しさ、楽しさを学ぶ事を目指します。						
到達目標	授業を通じて団体行動、情報収集、技術的な能力を身に付け、スキルアップを目指す。 また細分化された業種の中から自分に何が合っているかを見つける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	前期の復習　校内イベント向けたチーム分け	課題の確認、不明点の確認
2	10月21日	講義・演習	校内イベント資料制作　工具を理解する	工具や必要品の準備
3	10月28日	講義・演習	校内イベント　実践的に学ぶ	資料の整理、作成
4	11月4日	講義・演習	校内イベントの振り返りをし、問題点を理解する	課題の確認、不明点の確認
5	11月11日	講義・演習	外部ホール　実際の舞台機構を触る	工具や必要品の準備
6	11月18日	講義・演習	外部ホールの復習をし、想定される危険を理解する	課題の確認、不明点の確認
7	11月25日	講義・演習	校内イベントを通して資料制作を行う	工具や必要品の準備
8	12月2日	講義・演習	校内イベントを実践的に行い個々のレベルを知る	資料の整理、作成
9	12月9日	講義・演習	校内イベントの反省点をプレゼンテーションする	課題の確認、不明点の確認
10	12月16日	講義・演習	ホール実習の予習、資料作り　舞台の基本を説明できるようにする	資料の整理、作成
11	1月13日	講義・演習	外部ホール　実際の舞台にて構造を理解する	工具や必要品の準備など
12	1月20日	講義・演習	外部ホールの復習し、演出を考える	課題の確認、不明点の確認など
13	2月3日	講義・演習	テスト	課題の確認、不明点の確認など
14	2月10日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して舞台演出を学ぶ	レポート
15	2月17日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して舞台演出を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習			各週授業にのぞむための予習もしくは授業後の復習として取り組むこと	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	音響電気知識舞台技能調整技能士(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	小瀬高夫
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間(単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	一級舞台機構調整技能士として活動						
授業の学習内容	音の性質、音響心理、電気の基礎、アース、ノイズ、電気音響機器、楽器音、音楽の判断、基本PAセット組み上げおよび調整 板書き以外もメモを取る						
到達目標	基本PAセットを組み上げ調整出来る様になる。音波、電気音響機器の性質を理解して調整ができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	講師紹介　自己紹介　教科書　授業展開　音について　基本テスト	シラバス、教科書を確認
2	4月24日	講義・演習	音波の伝播　音場　音速　を理解する 基本PAセット	本日の予習
3	5月8日	講義・演習	周波数　可聴限界周波数　波長　振幅を理解する 基本PAセット	先週の復習、本日の予習
4	5月15日	講義・演習	音色　オームヘルムホルツの法則 基本PAセット 音波の性質を理解する	先週の復習、本日の予習
5	5月22日	講義・演習	音波の性質　音圧　音圧レベル　音量を理解する 基本PAセット	先週の復習、本日の予習
6	5月29日	講義・演習	騒音　NC値を理解する 基本PAセット	先週の復習、本日の予習
7	6月5日	講義・演習	音響心理を理解する 基本PAセット	先週の復習、本日の予習
8	6月12日	講義・演習	半田付け実習1を実践する	先週の復習、本日の予習
9	6月19日	講義・演習	半田付け実習2を実践する	先週の復習、本日の予習
10	7月3日	講義・演習	半田付け実習3を実践する	先週の復習、本日の予習
11	7月10日	講義・演習	半田付け実習4を実践する	先週の復習、本日の予習
12	7月17日	講義・演習	半田付け実習5を実践する	先週の復習、本日の予習
13	8月21日	講義・演習	期末試験(筆記、実技)	後期の予習、期末試験
14	8月28日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して電気知識を学ぶ	レポートの提出
15	9月11日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して電気知識を学ぶ	レポートの提出
準備学習　時間外学習			現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。	

【使用教科書・教材・参考書】

PA入門三訂版、ステージ、PA、照明用語事典、舞台音響技能検定過去問題ナビゲーション3級

科目名	音響電気知識舞台技能調整技能士(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	小瀬高夫
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間(単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	一級舞台機構調整技能士として活動						
授業の学習内容	音の性質、音響心理、電気の基礎、アース、ノイズ、電気音響機器、楽器音、音楽の判断、基本PAセット組み上げおよび調整 板書き以外もメモをとる						
到達目標	基本PAセットを組み上げ調整出来る様になる。音波、電気音響機器の性質を理解して調整ができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	電気の基礎を理解する オームの法則を理解する 基本PAセット	前期の復習、本日の予習
2	10月16日	講義・演習	電圧や抵抗の合成を理解する 基本PAセット	先週の復習、本日の予習
3	10月30日	講義・演習	スピーカーのシリ・パラ接続を理解する 基本PAセット	先週の復習、本日の予習
4	11月6日	講義・演習	現場のシミュレーションを理解する 基本PAセット	先週の復習、本日の予習
5	11月13日	講義・演習	保安アースとノイズを防ぐアースを理解する 基本PAセット	先週の復習、本日の予習
6	11月20日	講義・演習	電気音響機器の構造を理解する 基本PAセット	先週の復習、本日の予習
7	11月27日	講義・演習	マイクロフォンの分類を理解する 基本PAセット	先週の復習、本日の予習
8	12月4日	講義・演習	ダイナミックマイクロフォンを理解する 基本PAセット	先週の復習、本日の予習
9	12月11日	講義・演習	コンデンサーマイクロフォンを理解する 基本PAセット	先週の復習、本日の予習
10	12月18日	講義・演習	ワイヤレスマイクロフォン　イヤ・モニを理解する 基本PAセット	先週の復習、本日の予習
11	1月15日	講義・演習	スピーカーを理解する 基本PAセット	先週の復習、本日の予習
12	1月22日	講義・演習	エンクロージャーを理解する 基本PAセット	先週の復習、本日の予習
13	2月5日	講義・演習	期末試験(筆記、実技)	期末試験
14	2月12日	講義・演習	イベント実践(We are TSM)を通して電気知識を学ぶ	レポートの提出
15	2月19日	講義・演習	イベント実践(We are TSM)を通して電気知識を学ぶ	レポートの提出
準備学習　時間外学習			現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。	

【使用教科書・教材・参考書】

PA入門三訂版、ステージ、PA、照明用語事典、舞台音響技能検定過去問題ナビゲーション3級

科目名	LT Basic(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	藤井　直
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	照明プランナーとして活動						
授業の学習内容	実習を通じて基本を学ぶ。 実際現場で使用されている器材の扱い方や特性の基本を身につける。 舞台は照明だけでは成立することではなく、舞台、音響、出演者、お客様を含む総合芸術の意味を理解する。 好き嫌いではなく、やり遂げる力を持つこと。 近年の学生は嫌なことはやらなくてもいいという風潮があるが、好きなことから窓口を広げてゆき、やればできるのだと思うように展開していく。						
到達目標	照明をつける、明かりを照らすのではなく、出し物に対してその色や動きに意味をもたせ、その意味や説明ができようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	照明の仕事各種を理解できる。	レポート
2	4月24日	講義・演習	舞台照明の基礎知識を理解できる。	レポート
3	5月8日	講義・演習	レンズスポット、パーライトの構造を知ることができる。	レポート
4	5月15日	講義・演習	プロファイルスポットの構造を知ることができる。	レポート
5	5月22日	講義・演習	ケーブルの使い方と種類を知ることができる。	レポート
6	5月29日	講義・演習	カラーフィルター、種板、 切り方作り方を知ることができる。	レポート
7	6月5日	講義・演習	ピンスポットの使い方を知ることができる。	レポート
8	6月12日	講義・演習	アクセサリー、スタンド、ハンガーの取り扱いができる。	レポート
9	6月19日	講義・演習	調光とユニット パッチシステムの構造を理解できる。	レポート
10	7月3日	講義・演習	電源のことが理解できる。	レポート
11	7月10日	講義・演習	DMX信号線の理屈の理解できる。	レポート
12	7月17日	講義・演習	LED　SPOTの構造を理解できる。	レポート
13	8月21日	講義・演習	テスト	レポート
14	8月28日	講義・演習	イベント実践（明日への扉）を通して舞台照明を学ぶ	レポート
15	9月11日	講義・演習	イベント実践（明日への扉）を通して舞台照明を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習			照明効果を意識する	

【使用教科書・教材・参考書】

ステージ舞台照明入門

科目名	LT Basic(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	藤井　直
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	照明プランナーとして活動						
授業の学習内容	実習を通じて基本を学ぶ。 実際現場で使用されている器材の扱い方や特性の基本を身につける。 舞台は照明だけでは成立することではなく、舞台、音響、出演者、お客様を含む総合芸術の意味を理解する。 好き嫌いではなく、やり遂げる力を持つこと。 近年の学生は嫌なことはやらなくてもいいという風潮があるが、好きなことから窓口を広げてゆき、やればできるのだと思うように展開していく。						
到達目標	照明をつける、明かりを照らすのではなく、出し物に対してその色や動きに意味をもたせ、その意味や説明ができようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	地明かりを理解できる。	レポート
2	10月16日	講義・演習	バックの当て方を理解できる。	レポート
3	10月30日	講義・演習	ブッチの当て方を理解できる。	レポート
4	11月6日	講義・演習	舞台の効果が理解できる。	レポート
5	11月13日	講義・演習	システムの考え方が理解できる。	レポート
6	11月20日	講義・演習	進級展とWE AREの関わりについて理解できる。	レポート
7	11月27日	講義・演習	合同の仕込図における個人の オペレートの意味を理解できる。	レポート
8	12月4日	講義・演習	進級展のプランニングを学ぶ。	レポート
9	12月11日	講義・演習	進級展のプランニングを行い、明かり作りを行う。	レポート
10	12月18日	講義・演習	進級展のプランニングを実践できる。	レポート
11	1月15日	講義・演習	音楽イベントの明かり作りを学ぶ。	レポート
12	1月22日	講義・演習	音楽イベントの明かり作りを行い、全体の流れを組む。	レポート
13	2月5日	講義・演習	WE ARE TSMの明かり作りを実践できる。	レポート
14	2月12日	講義・演習	イベント実践（We are TSM）を通して舞台照明を学ぶ	レポート
15	2月19日	講義・演習	イベント実践（We are TSM）を通して舞台照明を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習			照明効果を意識する	

【使用教科書・教材・参考書】

ステージ舞台照明入門

科目名	ムービング Basic (1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	橋本　真也
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	(株)PACを経てフリー、その後EIRsWork合同会社設立。様々なイベントのLTプラン・オペレート・演出を行う。						
授業の学習内容	ムービングライトやフィクスチャーをメインに、その特性と機能を学ぶ。						
到達目標	ムービングライトの仕込みが出来る。 GrandMAでの簡単なシーンの作成、修正。 何度も触って、失敗して、機材に慣れる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	授業の進め方、教室使用方法、卓の基本的アクセス	レポート□
2	4月25日	講義・演習	ムービングの主な機能を知る。注意事項を知る。仕込み。	レポート□
3	5月9日	講義・演習	簡単なシーンの作成。卓の主な用語、機能を学ぶ。	レポート□
4	5月16日	講義・演習	シーンの作成。backupを学ぶ	レポート□
5	5月23日	講義・演習	sequenceの扱い、Timeを学ぶ	レポート□
6	5月30日	講義・演習	卓の基本的なセットアップを学ぶ	レポート□
7	6月6日	講義・演習	卓の基本的なセットアップを学ぶ2	レポート□
8	6月13日	講義・演習	小復習	レポート□
9	6月20日	講義・演習	ムービングライトの基本的なセッティングを学ぶ	レポート□
10	7月4日	講義・演習	chaserの作成、修正を学ぶ	レポート□
11	7月11日	講義・演習	CueのCommand Line、Loopを学ぶ	レポート□
12	7月18日	講義・演習	Presetの作成、修正、使用を学ぶ	レポート□
13	8月22日	講義・演習	テスト/Fader、Buttonの機能変更を学ぶ	レポート□
14	8月29日	講義・演習	イベント実践（明日への扉）を通してムービングの効果的使用方法を学ぶ	レポート□
15	9月12日	講義・演習	イベント実践（明日への扉）を通してムービングの効果的使用方法を学ぶ	レポート□
準備学習　時間外学習			基本的にレポート等にまとめてアウトプット。可能であればonPCを利用して復習。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	ムービング Basic (2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	橋本　真也
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	ライブ、コンサート、お芝居、施設照明のプラン、ムービングライトのオペレートを行う。						
授業の学習内容	現代に於いて必須とも言えるムービングライト、その特性と機能を学ぶ。						
到達目標	パッチの変更ができる。 様々な卓で、簡単なムービングの操作ができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	Patch基本を学ぶ	レポート□
2	10月10日	講義・演習	Effect基本を学ぶ	レポート□
3	10月17日	講義・演習	Effect応用を学ぶ	レポート□
4	10月31日	講義・演習	仕込みに関して学ぶ	レポート□
5	11月7日	講義・演習	Avoでの操作を学ぶ	レポート□
6	11月14日	講義・演習	GMA1,2onPC操作を学ぶ	レポート□
7	11月21日	講義・演習	GrandMA3Dについて学ぶ	レポート□
8	11月28日	講義・演習	小復習	レポート□
9	12月5日	講義・演習	VIEW作成を行う	レポート□
10	12月12日	講義・演習	sequenceの設定関連を学ぶ	レポート□
11	12月19日	講義・演習	MAtricksを学ぶ	レポート□
12	1月16日	講義・演習	明かり作りの実習	レポート□
13	1月23日	講義・演習	テスト、明かり作り実習	レポート□
14	1月30日	講義・演習	イベント実践（We are TSM!）を通して効果的使用方法を学ぶ	レポート□
15	2月13日	講義・演習	イベント実践（We are TSM!）を通して効果的使用方法を学ぶ	レポート□
準備学習　時間外学習			基本的にレポート等にまとめてアウトプット。可能であればonPCを利用して復習。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	VectorWorks Basic(1) Technical Basic(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	矢吹百合子
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	舞台美術デザイナー　コンサートのセットデザインを中心に活動						
授業の学習内容	業界内においては、スタッフはVectorworksを扱える事が最早必須事項となっています。 高度な設計シミュレーションソフトであるVectorworksについて学び、スキルを身に着けることで、業界への就業の間口を広くする事が出来ます。						
到達目標	■Vectorworksはどのようなソフトかを理解する ■平面図を書けるようになる ■測量したものをコンピュータで図面化出来る ■劇場設備について理解出来るようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	自己紹介～Vectorworksの仕組み・ システムの解説から使用方法を理解する	図面作成/レポート
2	5月7日	講義・演習	使用ソフトの基本説明を行い基本の操作方法を学ぶ	図面作成/レポート
3	5月14日	講義・演習	2Dシミュレーションの基本(1) 2Dシミュレーションの基礎の作図方法を学ぶ	図面作成/レポート
4	5月21日	講義・演習	学園祭図面作成(1) 会場測量を行い実物と縮尺の違いを学ぶ	図面作成/レポート
5	5月28日	講義・演習	学園祭図面作成(2) 測量した会場の作図を行う舞台のツールを学ぶ	図面作成/レポート
6	6月4日	講義・演習	学園祭図面作成(3) 測量した会場の作図を行うステージ・バトンの書き方を学ぶ	図面作成/レポート
7	6月11日	講義・演習	劇場の図面作成(1) 劇場の設備を理解する	図面作成/レポート
8	6月18日	講義・演習	劇場の図面作成(2) 実際の劇場図面を作図し劇場機構の仕組みを学ぶ	図面作成/レポート
9	6月25日	講義・演習	製作物のデザインと図面作成(1) 平面図を書く事ができる	図面作成/レポート
10	7月2日	講義・演習	製作物のデザインと図面作成(2) セットデザインを実際の劇場に当て込み検証し理解する	図面作成/レポート
11	7月9日	講義・演習	図面作成(1) ミュージカルの舞台図面を書き起こす	図面作成/レポート
12	7月16日	講義・演習	図面作成(2) ミュージカルの舞台図面を作図する	図面作成/レポート
13	8月27日	講義・演習	図面作成(3) 舞台図面を仕込み図に変換する方法を学ぶ	図面作成/レポート
14	9月10日	講義・演習	イベント(明日への扉)実践を通して作図を学ぶ	レポート
15	9月17日	講義・演習	イベント(明日への扉)実践を通して作図を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

適宜資料を配布

科目名	VectorWorks Basic(1) STAGE Basic(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	矢吹百合子
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	舞台美術デザイナー　コンサートのセットデザインを中心に活動						
授業の学習内容	業界内においては、スタッフはVectorworksを扱える事が最早必須事項となっています。 高度な設計シミュレーションソフトであるVectorworksについて学び、スキルを身に着けることで、業界への就業の間口を広くする事が出来ます。						
到達目標	■Vectorworksはどのようなソフトかを理解する ■平面図を書けるようになる ■測量したものをコンピュータで図面化出来る ■劇場設備について理解出来るようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	自己紹介～Vectorworksの仕組み・システムの解説から使用方法を理解する	図面作成/レポート
2	5月7日	講義・演習	使用ソフトの基本説明を行い基本の操作方法を学ぶ	図面作成/レポート
3	5月14日	講義・演習	2Dシミュレーションの基本(1) 2Dシミュレーションの基礎の作図方法を学ぶ	図面作成/レポート
4	5月21日	講義・演習	学園祭図面作成(1) 会場測量を行い実物と縮尺の違いを学ぶ	図面作成/レポート
5	5月28日	講義・演習	学園祭図面作成(2) 測量した会場の作図を行う舞台のツールを学ぶ	図面作成/レポート
6	6月4日	講義・演習	学園祭図面作成(3) 測量した会場の作図を行うステージ・バトンの書き方を学ぶ	図面作成/レポート
7	6月11日	講義・演習	劇場の図面作成(1) 劇場の設備を理解する	図面作成/レポート
8	6月18日	講義・演習	劇場の図面作成(2) 実際の劇場図面を作図し劇場機構の仕組みを学ぶ	図面作成/レポート
9	6月25日	講義・演習	製作物のデザインと図面作成(1) 平面図を書く事ができる	図面作成/レポート
10	7月2日	講義・演習	製作物のデザインと図面作成(2) セットデザインを実際の劇場に当て込み検証し理解する	図面作成/レポート
11	7月9日	講義・演習	図面作成(1) ミュージカルの舞台図面を書き起こす	図面作成/レポート
12	7月16日	講義・演習	図面作成(2) ミュージカルの舞台図面を作図する	図面作成/レポート
13	8月27日	講義・演習	図面作成(3) 舞台図面を仕込み図に変換する方法を学ぶ	図面作成/レポート
14	9月10日	講義・演習	イベント(明日への扉)実践を通して作図を学ぶ	レポート
15	9月17日	講義・演習	イベント(明日への扉)実践を通して作図を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

適宜資料を配布

科目名	VectorWorks Basic(2) Technical Basic(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	矢吹百合子
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	舞台美術デザイナー　コンサートのセットデザインを中心に活動						
授業の学習内容	業界内においては、スタッフはVectorworksを扱える事が最早必須事項となっています。 高度な設計シミュレーションソフトであるVectorworksについて学び、スキルを身に着けることで、業界への就業の間口を広くする事が出来ます。						
到達目標	■Vectorworksはどのようなソフトかを理解する ■平面図を書けるようになる ■測量したものをコンピュータで図面化出来る ■劇場設備について理解出来るようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	ハロウィンの装飾デザイン(1) ハロウィン装飾のデザインを考案する	図面作成/レポート
2	10月15日	講義・演習	ハロウィンの装飾デザイン(2) ハロウィン装飾の作図し模擬コンペを行う	図面作成/レポート
3	10月22日	講義・演習	3Dシミュレーションの基本(2) 3Dへの変換方法を学び実際に図面を作成する	図面作成/レポート
4	10月29日	講義・演習	3Dシミュレーションのまとめ(1)3Dの見え方を学ぶ 光源による見え方の違いを理解する	図面作成/レポート
5	11月5日	講義・演習	劇場の3D作成(1) 実際の劇場を2Dから3Dに立ち上げる方法を学ぶ	図面作成/レポート
6	11月12日	講義・演習	劇場の3D作成(2) 3D変換された図面の検証方法を学ぶ	図面作成/レポート
7	11月19日	講義・演習	劇場の3D作成(3) 検証結果を基に総合的なイメージを作る	図面作成/レポート
8	11月26日	講義・演習	3Dシミュレーションのまとめ(2) テクスチャ設定を行い説得力のあるレンダリング結果を得る方法を学ぶ	図面作成/レポート
9	12月3日	講義・演習	クリスマスの装飾デザイン(1) 2Dでデザインと設計図を作る方法を学ぶ	図面作成/レポート
10	12月10日	講義・演習	クリスマスの装飾デザイン(2) 2D→3Dモデリングの編集方法を学ぶ	図面作成/レポート
11	12月17日	講義・演習	We are TSMに向けて　装飾デザイン プレゼンボードの作成方法を学ぶ	図面作成/レポート
12	1月14日	講義・演習	We are TSMに向けて　図面作成(1) 実際にイベントで使用する劇場の平面図を作図する。	図面作成/レポート
13	1月21日	講義・演習	We are TSMに向けて　図面作成(2) 実際にイベントで使用する仕込み図面を作図する。	図面作成/レポート
14	2月4日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して作画を学ぶ	レポート
15	2月11日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して作画を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

適宜資料を配布

科目名	VectorWorks Basic(2) STAGE Basic(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	矢吹百合子
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60 （4単位）		
教員の略歴	舞台美術デザイナー　コンサートのセットデザインを中心に活動						
授業の学習内容	業界内においては、スタッフはVectorworksを扱える事が最早必須事項となっています。 高度な設計シミュレーションソフトであるVectorworksについて学び、スキルを身に着けることで、業界への就業の間口を広くする事が出来ます。						
到達目標	■Vectorworksはどのようなソフトかを理解する ■平面図を書けるようになる ■測量したものをコンピュータで図面化出来る ■劇場設備について理解出来るようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	ハロウィンの装飾デザイン(1) ハロウィン装飾のデザインを考案する	図面作成/レポート
2	10月15日	講義・演習	ハロウィンの装飾デザイン(2) ハロウィン装飾の作図し模擬コンペを行う	図面作成/レポート
3	10月22日	講義・演習	3Dシミュレーションの基本(2) 3Dへの変換方法を学び実際に図面を作成する	図面作成/レポート
4	10月29日	講義・演習	3Dシミュレーションのまとめ(1)3Dの見え方を学ぶ 光源による見え方の違いを理解する	図面作成/レポート
5	11月5日	講義・演習	劇場の3D作成(1) 実際の劇場を2Dから3Dに立ち上げる方法を学ぶ	図面作成/レポート
6	11月12日	講義・演習	劇場の3D作成(2) 3D変換された図面の検証方法を学ぶ	図面作成/レポート
7	11月19日	講義・演習	劇場の3D作成(3) 検証結果を基に総合的なイメージを作る	図面作成/レポート
8	11月26日	講義・演習	3Dシミュレーションのまとめ(2) テクスチャ設定を行い説得力のあるレンダリング結果を得る方法を学ぶ	図面作成/レポート
9	12月3日	講義・演習	クリスマスの装飾デザイン(1) 2Dでデザインと設計図を作る方法を学ぶ	図面作成/レポート
10	12月10日	講義・演習	クリスマスの装飾デザイン(2) 2D→3Dモデリングの編集方法を学ぶ	図面作成/レポート
11	12月17日	講義・演習	We are TSMに向けて　装飾デザイン プレゼンボードの作成方法を学ぶ	図面作成/レポート
12	1月14日	講義・演習	We are TSMに向けて　図面作成(1) 実際にイベントで使用する劇場の平面図を作図する。	図面作成/レポート
13	1月21日	講義・演習	We are TSMに向けて　図面作成(2) 実際にイベントで使用する仕込み図面を作図する。	図面作成/レポート
14	2月4日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して作画を学ぶ	レポート
15	2月11日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して作画を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

適宜資料を配布

科目名	楽器/機材知識(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	北　英樹
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	舞台監督・楽器テクニシャンとして活動						
授業の学習内容	①様々な楽器の基礎知識についての講義及び実技 ②音楽が存在する科目全てに関連している ③楽器に興味を持ち授業に於いて基礎知識 様々な楽器の名称・構造・特徴・形・音色・セッティング方法・音の出し方等を習得する						
到達目標	音楽業界に就職する上で必ず必要になる楽器の知識を身につけ、 細部にわたる機材名称構造等を身につけ答えられる様になる。 楽器は大切に愛情を持って丁寧に扱うことができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	オリエンテーション 楽器の種類 楽器の特徴を理解する	授業日と授業時間を把握する
2	5月7日	講義・演習	楽器の種類 楽器の特徴を述べられるようになる	楽器の種類 楽器の特徴を調べる
3	5月14日	講義・演習	DRUMSについて理解する	DRUMSとは何か調べる
4	5月21日	講義・演習	BassDrumについて理解する	BassDrumとは何か調べる
5	5月28日	講義・演習	SnareDrumについて理解する	SnareDrumとは何か調べる
6	6月4日	講義・演習	Hi-HATについて理解する	Hi-HATとは何か調べる
7	6月11日	講義・演習	Hi-HATStandについて理解する	Hi-HATStandとは何か調べる
8	6月18日	講義・演習	3点とFloorTomについて理解する	3点とFloorTomとは何か調べる
9	6月25日	講義・演習	Tom Tomについて理解する	Tom Tomとは何か調べる
10	7月2日	講義・演習	Cymbalについて理解する	Cymbalとは何か調べる
11	7月9日	講義・演習	DRUMS全体のセッティングについて理解する	DRUM全体のセッティングとは何か調べる
12	7月16日	講義・演習	DRUMSのメンテナンスについて理解する	DRUM全体のメンテナンスとは何か調べる
13	8月27日	講義・演習	前期テスト	レポート提出
14	9月10日	講義・演習	学内イベント実践を通じて現場でのテックを学ぶ	レポート提出
15	9月17日	講義・演習	学内イベント実践を通じて現場でのテックを学ぶ	レポート提出
準備学習　時間外学習			準備学習 各授業のテーマを調べて下さい　時間外学習 授業日の曜日に必ず復習して下さい	

【使用教科書・教材・参考書】

教材　学内に有る 全ての 楽器を使用して授業を行う

科目名	楽器/機材知識(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	北　英樹
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	舞台監督・楽器テクニシャンとして活動						
授業の学習内容	①様々な楽器の基礎知識についての講義及び実技 ②音楽が存在する科目全てに関連している ③楽器に興味を持ち授業に於いて基礎知識 様々な楽器の名称・構造・特徴・形・音色・セッティング方法・音の出し方等を習得する						
到達目標	音楽業界に就職する上で必ず必要になる楽器の知識を身につけ、 細部にわたる機材名称 構造等を身につけ、答えられる様になる。楽器は大切に愛情を持って丁寧に扱うことができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	電気について理解する	電気について調べる
2	10月15日	講義・演習	弦楽器について理解する	弦楽器について調べる
3	10月22日	講義・演習	GUITERについて理解する	GUITERについて調べる
4	10月29日	講義・演習	BASSについて理解する	BASSについて調べる
5	11月5日	講義・演習	AMPについて理解する	GUITERT・BASS AMPついて調べる
6	11月12日	講義・演習	トランジスターAMP について理解する	トランジスターAMP について調べる
7	11月19日	講義・演習	真空管AMPについて理解する□	真空管AMPについて調べる
8	11月26日	講義・演習	鍵盤楽器について理解する	鍵盤楽器について調べる
9	12月3日	講義・演習	鍵盤楽器アコースティックについて理解する	鍵盤楽器アコースティックについて調べる
10	12月10日	講義・演習	鍵盤電気楽器について理解する	鍵盤電気楽器について調べる
11	12月17日	講義・演習	複数の鍵盤楽器のセッティングについて理解する	鍵盤電気楽器の種類について調べる
12	1月14日	講義・演習	多く楽器の特徴について理解する	全ての楽器の種類について調べる
13	1月21日	講義・演習	後期テスト	レポート
14	2月4日	講義・演習	イベント実践（明日への扉）（We are TSM!）を通じて 現場でのテックを学ぶ□	レポート
15	2月11日	講義・演習	イベント実践（明日への扉）（We are TSM!）を通じて 現場でのテックを学ぶ□	レポート
準備学習　時間外学習			準備学習 各授業のテーマを調べて下さい　時間外学習 授業日の曜日に必ず復習して下さい	

【使用教科書・教材・参考書】

教材　学内に有る 全ての 楽器を使用して授業を行う

科目名	Digital Foundation(1) Digital Foundation A(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	佐藤瑠美 尾中彩美 石井慎一郎
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	デザイナーとしての実務経験、グラフィックデザイン科の講師経験						
授業の学習内容	社会においてIT知識、広告・宣伝は欠かせないものであり、消費者として普段からよく目にするものでもある。 この科目の受講者自身にはビジネスにおけるIT知識、広告宣伝に使えるデザインの基礎知識を習得し、 講義では、デザイン技術を、演習を中心に、使用頻度の高いアプリケーションを用いてスキル習得していく。						
到達目標	Macを自由に扱えるようになる。 Adobe Photoshopの基本操作ができるようになる。(レタッチ中心) Adobe Illustratorの基本操作ができるようになる。(ベジェ曲線操作、デザイン中心) デザイン性のある入稿用データ作成ができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	macの基本操作、Teamsの利用方法、Keynote基本操作理解。文字入力、サイズ、アニメーション。Keynote(自己紹介PPT)を使用して資料を作成しプレゼンする。	【事前動画説明】macの基本操作方法、Teamsの利用方法、Keynoteの機能説明と基本操作方法
2	4月25日	講義・演習	ワードとエクセルの基本操作理解。 ワード(ビジネス文章)/エクセル(タイムテーブル)提出	【事前動画説明】画面収録の方法、Word(文書作成)、Excel(表の作成、表計算)の操作方法
3	5月9日	講義・演習	PhotoshopとIllustratorの違いを理解する。 【Ai】【Ps】基本操作(ワークスペース、ツールバー、パレット、画面拡縮、新規作成、保存)	【事前動画説明】AdobeCCログイン方法、PhotoshopとIllustratorのワークスペース、ツールバー、パレットなど基本操作方法
4	5月16日	講義・演習	【Ai】基本操作:選択、バウンディングボックス、カラー、変形、重ね順、図形応用、ダイレクト選択ツール、パスファインダ、整列、テキスト入力、グループ化	【事前動画説明】Aiを使用して作れるものの紹介、操作方法
5	5月23日	講義・演習	【Ps】基本操作:画像切り抜き、レタッチ、写真補正	【事前動画説明】Psを使用して作れるものの紹介、操作方法
6	5月30日	講義・演習	【Ps】【Ai】写真を複数用いたミニポスター課題作成、作成例を観察、トレンドやデザイン性について考える	【事前動画説明】ミニポスター作成の手順を解説、Psを使用した写真加工、Aiでのレイアウト、ロゴ作成、入稿用データ作成、デザインのトレンドについて
7	6月6日	講義・演習	【Ps】【Ai】写真を複数用いたミニポスター課題作成、仕上げ、提出	同上
8	6月13日	講義・演習	【Ps】【Ai】写真を複数用いたグッズデータ課題作成、作成例を観察、魅力的なグッズとは何か考える□	【事前動画説明】グッズデータ作成の手順を解説、Psを使用した写真加工、Aiでのレイアウト、入稿用データ作成、魅力的なグッズとはなにか
9	6月20日	講義・演習	【Ps】【Ai】写真を複数用いたグッズデータ課題作成、仕上げ、提出	同上
10	7月4日	講義・演習	【Ps】【Ai】写真を複数用いたパンフレット課題作成、作成例を観察、多くの情報を整理整頓することに慣れ、美しいデザインを作成する	【事前動画説明】パンフレットデータ作成の手順を解説、Psを使用した写真加工、Aiでのレイアウト、入稿用データ作成、情報を整理整頓する
11	7月11日	講義・演習	【Ps】【Ai】写真を複数用いたパンフレットデータ課題作成	同上
12	7月18日	講義・演習	【Ps】【Ai】写真を複数用いたパンフレットデータ課題作成、仕上げ、提出	同上
13	8月29日	講義・演習	到達度テスト	【事前動画説明】前期で習得してきたスキルを一通り復習する。
14	9月5日	講義・演習	イベント実践を通してデジタルスキルの業務を学ぶ	レポート
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してデジタルスキルの業務を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習			定期的にメディアを通じて雑誌のデザイン、グッズデザインなどを見て自分の好みをよく考える	

【使用教科書・教材・参考書】

Mac,Microsoft office,Teams,Adobeアプリケーション

科目名	Digital Foundation(1) Digital Foundation B(1)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	佐藤瑠美 尾中彩美 石井慎一郎
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60 （4単位）		
教員の略歴	デザイナーとしての実務経験、グラフィックデザイン科の講師経験						
授業の学習内容	社会においてIT知識、広告・宣伝は欠かせないものであり、消費者として普段からよく目にするものでもある。 この科目の受講者自身にはビジネスにおけるIT知識、広告宣伝に使えるデザインの基礎知識を習得し、 講義では、デザイン技術を、演習を中心に、使用頻度の高いアプリケーションを用いてスキル習得していく。						
到達目標	Macを自由に扱えるようになる。 Adobe Photoshopの基本操作ができるようになる。（レタッチ中心） Adobe Illustratorの基本操作ができるようになる。（ベジェ曲線操作、デザイン中心） デザイン性のある入稿用データ作成ができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	macの基本操作、Teamsの利用方法、Keynote基本操作理解。文字入力、サイズ、アニメーション。Keynote（自己紹介PPT）を使用して資料を作成しプレゼンする。	【事前動画説明】macの基本操作方法、Teamsの利用方法、Keynoteの機能説明と基本操作方法
2	4月25日	講義・演習	ワードとエクセルの基本操作理解。 ワード（ビジネス文章）/エクセル(タイムテーブル)提出	【事前動画説明】画面収録の方法、Word（文書作成）、Excel（表の作成、表計算）の操作方法
3	5月9日	講義・演習	PhotoshopとIllustratorの違いを理解する。 【Ai】【Ps】基本操作（ワークスペース、ツールバー、パレット、画面拡縮、新規作成、保存）	【事前動画説明】AdobeCCログイン方法、PhotoshopとIllustratorのワークスペース、ツールバー、パレットなど基本操作方法
4	5月16日	講義・演習	【Ai】基本操作：選択、バウンディングボックス、カラー、変形、重ね順、図形応用、ダイレクト選択ツール、パスファインダ、整列、テキスト入力、グループ化	【事前動画説明】Aiを使用して作れるものの紹介、操作方法
5	5月23日	講義・演習	【Ps】基本操作：画像切り抜き、レタッチ、写真補正	【事前動画説明】Psを使用して作れるものの紹介、操作方法
6	5月30日	講義・演習	【Ps】【Ai】写真を複数用いたミニポスター課題作成、作成例を観察、トレンドやデザイン性について考える	【事前動画説明】ミニポスター作成の手順を解説、Psを使用した写真加工、Aiでのレイアウト、ロゴ作成、入稿用データ作成、デザインのトレンドについて
7	6月6日	講義・演習	【Ps】【Ai】写真を複数用いたミニポスター課題作成、仕上げ、提出	同上
8	6月13日	講義・演習	【Ps】【Ai】写真を複数用いたグッズデータ課題作成、作成例を観察、魅力的なグッズとは何か考える□	【事前動画説明】グッズデータ作成の手順を解説、Psを使用した写真加工、Aiでのレイアウト、入稿用データ作成、魅力的なグッズとはなにか
9	6月20日	講義・演習	【Ps】【Ai】写真を複数用いたグッズデータ課題作成、仕上げ、提出	同上
10	7月4日	講義・演習	【Ps】【Ai】写真を複数用いたパンフレット課題作成、作成例を観察、多くの情報を整理整頓することに慣れ、美しいデザインを作成する	【事前動画説明】パンフレットデータ作成の手順を解説、Psを使用した写真加工、Aiでのレイアウト、入稿用データ作成、情報を整理整頓する
11	7月11日	講義・演習	【Ps】【Ai】写真を複数用いたパンフレットデータ課題作成	同上
12	7月18日	講義・演習	【Ps】【Ai】写真を複数用いたパンフレットデータ課題作成、仕上げ、提出	同上
13	8月29日	講義・演習	到達度テスト	【事前動画説明】前期で習得してきたスキルを一通り復習する。
14	9月5日	講義・演習	イベント実践を通してデジタルスキルの業務を学ぶ	レポート
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してデジタルスキルの業務を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習			定期的にメディアを通じて雑誌のデザイン、グッズデザインなどを見て自分の好みをよく考える	

【使用教科書・教材・参考書】

Mac,Microsoft office,Teams,Adobeアプリケーション

科目名	Digital Foundation(2) Digital Foundation A(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	佐藤瑠美 尾中彩美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	デザイナーとしての実務経験、グラフィックデザイン科の講師経験						
授業の学習内容	昨今の社会において、デジタルコンテンツを制作・発信する能力は欠かせないものである。 この科目の受講者自身にはデジタルポートフォリオを所持してもらい、自身の活動をPRする映像を制作・発信する。 写真やビデオ等の映像機器及び映像編集ソフトを用いた表現に関する学習を通して、表現力・映像処理能力を高める。						
到達目標	履修者全員が動画制作をできるようになる。 STUDIOを利用した自身のデジタルポートフォリオ（web）の運営ができるようになる。 Adobe AfterEffectsの基本操作ができるようになる。（アニメーション作成・エフェクト適用中心） Adobe Premiereの基本操作ができるようになる。（カット編集中心） YouTubeに投稿した動画をポートフォリオに掲載して他者に共有できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	【STUDIO】自身のポートフォリオサイトを作成、STUDIO基本	【事前動画説明】STUDIOのアカウント作成～基本操作方法
2	10月10日	講義・演習	【STUDIO】ポートフォリオサイトを仕上げる。提出	同上
3	10月17日	講義・演習	【Pr】Premiereで出来ることを知る。 Prの基本操作理解：新規プロジェクト作成、シーケンス作成、素材の読み込み、カット編集、書き出し	【事前動画説明】Prを使用して作れるものの紹介、基本操作方法(プロジェクト作成～編集～動画書き出しまで)
4	10月24日	講義・演習	【Pr】Premiere発展課題① ショート動画の作成：カット編集、字幕入力、音楽、書き出し、提出	同上
5	10月31日	講義・演習	【Pr】Premiere発展課題② Vlogの作成：カット編集、字幕入力、音楽、色調補正、書き出し、提出	同上
6	11月6日	講義・演習	【Ae】AfterEffectsで出来ることを知る。 Aeの基本操作理解：新規プロジェクト作成、コンポジション作成、平面作成、テキスト入力、素材の読み込み、書き出し	【事前動画説明】Aeを使用して作れるものの紹介、基本操作方法(プロジェクト作成～アニメ作成～動画書き出しまで)
7	11月21日	講義・演習	【Ae】AfterEffects発展課題① キーフレームアニメの作成：素材読み込み、キーフレームアニメ作成、提出	【事前動画説明】Aeでのキーフレームアニメの作り方、テキストアニメの作り方
8	11月28日	講義・演習	【Ae】AfterEffects発展課題② テキストアニメの作成：プリセットを使ったテキストアニメ作成、提出	同上
9	12月5日	講義・演習	【YouTube】YouTubeに動画を投稿する。 【STUDIO】ポートフォリオに動画を掲載する。	【事前動画説明】YouTubeへの投稿方法、STUDIOでポートフォリオに動画を掲載する方法
10	12月19日	講義・演習	最終課題選定。自分の選考学科からテーマを決めて映像構成をする。アイデア出しから制作までの手順を理解し、完成させる。	【事前動画説明】最終課題の参考映像を紹介。 アイデア出しから制作までの手順を解説。
11	1月16日	講義・演習	個人制作	同上
12	1月23日	講義・演習	個人制作	同上
13	1月30日	講義・演習	個人制作と最終課題の提出(ポートフォリオに制作した動画を掲載する)　到達度テスト	【事前動画説明】後期で習得してきたスキルを一通り復習する。
14	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してデジタルスキルの業務を学ぶ	レポート
15	2月20日	講義・演習	イベント実践を通してデジタルスキルの業務を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習			動画コンテンツに触れて、面白い映像表現、どんな編集をしているか観察しておく。	

【使用教科書・教材・参考書】

Mac,STUDIO,Adobeアプリケーション

科目名	Digital Foundation(2) Digital Foundation B(2)	必修選択	選択	年次	1	担当教員	佐藤瑠美 尾中彩美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60 （4単位）		
教員の略歴	デザイナーとしての実務経験、グラフィックデザイン科の講師経験						
授業の学習内容	昨今の社会において、デジタルコンテンツを制作・発信する能力は欠かせないものである。 この科目の受講者自身にはデジタルポートフォリオを所持してもらい、自身の活動をPRする映像を制作・発信する。 写真やビデオ等の映像機器及び映像編集ソフトを用いた表現に関する学習を通して、表現力・映像処理能力を高める。						
到達目標	履修者全員が動画制作をできるようになる。 STUDIOを利用した自身のデジタルポートフォリオ（web）の運営ができるようになる。 Adobe AfterEffectsの基本操作ができるようになる。（アニメーション作成・エフェクト適用中心） Adobe Premiereの基本操作ができるようになる。（カット編集中心） YouTubeに投稿した動画をポートフォリオに掲載して他者に共有できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	【STUDIO】自身のポートフォリオサイトを作成、STUDIO基本	【事前動画説明】STUDIOのアカウント作成～基本操作方法
2	10月10日	講義・演習	【STUDIO】ポートフォリオサイトを仕上げる。提出	同上
3	10月17日	講義・演習	【Pr】Premiereで出来ることを知る。 Prの基本操作理解：新規プロジェクト作成、シーケンス作成、素材の読み込み、カット編集、書き出し	【事前動画説明】Prを使用して作れるものの紹介、基本操作方法(プロジェクト作成～編集～動画書き出しまで)
4	10月24日	講義・演習	【Pr】Premiere発展課題① ショート動画の作成：カット編集、字幕入力、音楽、書き出し、提出	同上
5	10月31日	講義・演習	【Pr】Premiere発展課題② Vlogの作成：カット編集、字幕入力、音楽、色調補正、書き出し、提出	同上
6	11月6日	講義・演習	【Ae】AfterEffectsで出来ることを知る。 Aeの基本操作理解：新規プロジェクト作成、コンポジション作成、平面作成、テキスト入力、素材の読み込み、書き出し	【事前動画説明】Aeを使用して作れるものの紹介、基本操作方法(プロジェクト作成～アニメ作成～動画書き出しまで)
7	11月21日	講義・演習	【Ae】AfterEffects発展課題① キーフレームアニメの作成：素材読み込み、キーフレームアニメ作成、提出	【事前動画説明】Aeでのキーフレームアニメの作り方、テキストアニメの作り方
8	11月28日	講義・演習	【Ae】AfterEffects発展課題② テキストアニメの作成：プリセットを使ったテキストアニメ作成、提出	同上
9	12月5日	講義・演習	【YouTube】YouTubeに動画を投稿する。 【STUDIO】ポートフォリオに動画を掲載する。	【事前動画説明】YouTubeへの投稿方法、STUDIOでポートフォリオに動画を掲載する方法
10	12月19日	講義・演習	最終課題選定。自分の選考学科からテーマを決めて映像構成をする。アイデア出しから制作までの手順を理解し、完成させる。	【事前動画説明】最終課題の参考映像を紹介。 アイデア出しから制作までの手順を解説。
11	1月16日	講義・演習	個人制作	同上
12	1月23日	講義・演習	個人制作	同上
13	1月30日	講義・演習	個人制作と最終課題の提出(ポートフォリオに制作した動画を掲載する)　到達度テスト	【事前動画説明】後期で習得してきたスキルを一通り復習する。
14	2月13日	講義・演習	イベント実践を通してデジタルスキルの業務を学ぶ	レポート
15	2月20日	講義・演習	イベント実践を通してデジタルスキルの業務を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習			動画コンテンツに触れて、面白い映像表現、どんな編集をしているか観察しておく。	

【使用教科書・教材・参考書】

Mac,STUDIO,Adobeアプリケーション

科目名	PA Advance(3)	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	西海 英志 須藤 浩 原嶋 紘平 杉田 達矢
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	120 (8単位)		
教員の略歴	PAエンジニア/オペレーターとして活動						
授業の学習内容	実践を通じ、PAエンジニアとして必要になる基礎的な機材知識、信号の流れ、電気について、 機材のセッティングからサウンドチェック・ライブ本番・撤収までの流れを理解した上で、応用に対応する						
到達目標	学内ライブにて、バンドのライブ本番のPAオペレートを行えるようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月14日	講義・演習	モニターシステムを学ぶ	レポート
2	4月21日	講義・演習	空間系エフェクターを学び、操作できるようになる	前週内容の復習
3	5月12日	講義・演習	ダイナミック系エフェクターを学び、操作できるようになる	前週内容の復習
4	5月19日	講義・演習	デジタルオーディオを学ぶ	前週内容の復習
5	5月26日	講義・演習	デジタルミキサーのオペレートを出来るようになる	前週内容の復習
6	6月2日	講義・演習	イベント内容を理解し、シミュレーションする	前週内容の復習
7	6月9日	講義・演習	機材リセットについて理解する	前週内容の復習
8	6月16日	講義・演習	デジタルミキサーのオペレートを出来るようになる	前週内容の復習
9	6月23日	講義・演習	効率の良い積み方を学ぶ	前週内容の復習
10	6月30日	講義・演習	限られた機材でプランを立て実践する	前週内容の復習
11	7月7日	講義・演習	野外現場を想定した特殊な設営を学習する	前週内容の復習
12	7月14日	講義・演習	ワイヤレスについて深く学ぶ	前週内容の復習
13	8月25日	講義・演習	試験	前週内容の復習
14	9月8日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台音響を学ぶ	レポートの提出
15	9月15日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台音響を学ぶ	レポートの提出
準備学習　時間外学習			音が流れる仕組みを理解し、その理由を考える	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	PA Advance(4)	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	西海 英志 須藤 浩 原嶋 紘平 杉田 達矢
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	120 (8単位)		
教員の略歴	PAエンジニア/オペレーターとして活動						
授業の学習内容	実践を通じ、PAエンジニアとして必要になる基礎的な機材知識、信号の流れ、電気について、 機材のセッティングからサウンドチェック・ライブ本番・撤収までの流れを理解した上で、応用に対応する						
到達目標	学内ライブにて、バンドのライブ本番のPAオペレートを行えるようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	音響機材におけるPC等のネットワークオーディオについて学ぶ	レポート
2	10月13日	講義・演習	ラインアレイ、ドルビーレイクを学ぶ	前週内容の復習
3	10月20日	講義・演習	リアルタイムアナライザーを使用し、音場測定を学ぶ	前週内容の復習
4	10月27日	講義・演習	Vo＋Bandのモニターを学ぶ	前週内容の復習
5	11月3日	講義・演習	ライブ本番を想定したRHを行う	前週内容の復習
6	11月10日	講義・演習	イベントのセクション決め、内容確認をし、理解する	前週内容の復習
7	11月17日	講義・演習	セクションに分かれたプラン組を学ぶ	前週内容の復習
8	11月24日	講義・演習	セクションに分かれた仕組みを学ぶ	前週内容の復習
9	12月1日	講義・演習	イベントに向けてシステムチェックを理解する	前週内容の復習
10	12月8日	講義・演習	搬入・仕込み・リハーサル・本番・撤去について学ぶ 他のセクションの動きを意識する	前週内容の復習
11	12月15日	講義・演習	イベントの仕込み、本番、撤収作業を通じて、 音響スタッフとしての現場力を身に付ける	前週内容の復習
12	1月19日	講義・演習	イベントの仕込み、本番、撤収作業を通じて、 音響スタッフとしての現場力を身に付ける	前週内容の復習
13	2月2日	講義・演習	試験	前週内容の復習
14	2月9日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して舞台音響を学ぶ	レポート提出
15	2月16日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して舞台音響を学ぶ	レポート提出
準備学習　時間外学習			音が流れる仕組みを理解し、その理由を考える	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	LT Advance(3)	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	藤井直
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	照明プランナーとして活動						
授業の学習内容	数多くの照明プランを作成して、LS-1では思ったことを表現できるようにする。依頼を受けた内容に対して客感的な対応ができるように引き出しを多く作り上げる。トラブルも数多く経験させる。社会にも通じる話術の構築						
到達目標	照明の仕込み図　打ち合わせ　仕込み　あかり作り　オペレート　撤去までの一連の流れの理解ができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	グループの中での個人の意識を知ることができる。	レポート
2	4月24日	講義・演習	与えられた物への解釈が理解できる。	レポート
3	5月8日	講義・演習	仕事へのとらえ方を理解できる。	レポート
4	5月15日	講義・演習	器材の台数、リストを把握できる。	レポート
5	5月22日	講義・演習	メンテナンスの方法を習得できる。	レポート
6	5月29日	講義・演習	メンテナンスの方法を実践する。	レポート
7	6月5日	講義・演習	シーンとキッカケの修正を学ぶ。	レポート
8	6月12日	講義・演習	シーンとキッカケの修正を習得できる。	レポート
9	6月19日	講義・演習	シーンとキッカケの修正を実践する。	レポート
10	7月3日	講義・演習	チームでプラン作り上げる　回路図の作成を行う	レポート
11	7月10日	講義・演習	チームでプラン作り上げる　図面への落とし込み	レポート
12	7月17日	講義・演習	チームでプラン作り上げる　仕込みをする	レポート
13	8月21日	講義・演習	テスト	レポート
14	8月28日	講義・演習	イベント実践（明日への扉）を通して舞台照明を学ぶ	レポート
15	9月11日	講義・演習	イベント実践（明日への扉）を通して舞台照明を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習			照明効果を意識する	

【使用教科書・教材・参考書】

ステージ舞台照明入門

東京スクールオブミュージック＆ダンス専門学校

科目名	LT Advance(4)	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	藤井直
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	照明プランナーとして活動						
授業の学習内容	数多くの照明プランを作成して、LS-1では思ったことを表現できるようにする。依頼を受けた内容に対して客感的な対応ができるように引き出しを多く作り上げる。トラブルも数多く経験させる。 ホールの規模によりLS-1の感覚とは異なることを感じること。場所により多種多様な考え方があることを認識させる。						
到達目標	照明の仕込み図　打ち合わせ　仕込み　あかり作り　オペレート　撤去までの一連の流れがチーフとして理解して、行動できる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	他の人が作ったプランニングの評価を行う。	レポート
2	10月16日	講義・演習	自らがつけた他のプランニングの評価に修正を入れることができる。	レポート
3	10月30日	講義・演習	自らのプランニングへの修正を聞き、再構築を行う。	レポート
4	11月6日	講義・演習	プランニングの評価と修正ができる。	レポート
5	11月13日	講義・演習	器材メンテナンスの実践ができる。	レポート
6	11月20日	講義・演習	PCでの仕込図の書き方を理解できる。	レポート
7	11月27日	講義・演習	音楽イベントプランニングの基本を実践できる。	レポート
8	12月4日	講義・演習	音楽イベントに向けてのチーム編成を考察できる。	レポート
9	12月11日	講義・演習	音楽イベントに向けてのシステムを考察する。	レポート
10	12月18日	講義・演習	音楽イベントに向けて仕込図を作る。	レポート
11	1月15日	講義・演習	音楽イベントの明かり作りを実際に仕込む。	レポート
12	1月22日	講義・演習	音楽イベントの明かり作りへの修正を行う。	レポート
13	2月5日	講義・演習	音楽イベントの明かり作りを実践する。	レポート
14	2月12日	講義・演習	イベント実践（We are TSM）を通して舞台照明を学ぶ	レポート
15	2月19日	講義・演習	イベント実践（We are TSM）を通して舞台照明を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習			照明効果を意識する	

【使用教科書・教材・参考書】

ステージ舞台照明入門

東京スクールオブミュージック＆ダンス専門学校

科目名	舞台概論(3)	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	飯塚幸之介
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	舞台制作・舞台監督として数々の現場を担当。						
授業の学習内容	舞台についての具体的な仕事を学ぶ 演出を多角的に学ぶ						
到達目標	舞台についての具体的な仕事を理解する 演出を多角的に理解する						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	オリエンテーション	レポート
2	5月7日	講義・演習	舞台監督の実践①安全管理	レポート
3	5月14日	講義・演習	舞台監督の実践①クオリティへの挑戦	レポート
4	5月21日	講義・演習	舞台監督の実践①職長としての仕事	レポート
5	5月28日	講義・演習	舞台監督の実践①テクニカルディレクター	レポート
6	6月4日	講義・演習	舞台監督の実践①ステージマネージャー	レポート
7	6月11日	講義・演習	舞台監督の実践①プロダクションマネージャー	レポート
8	6月18日	講義・演習	舞台美術の実践①仕込とバラシ	レポート
9	6月25日	講義・演習	舞台美術の実践①有り物の舞台	レポート
10	7月2日	講義・演習	舞台美術の実践①仮設舞台	レポート
11	7月9日	講義・演習	舞台美術の実践①トラス	レポート
12	7月16日	講義・演習	舞台美術の実践①強度について	レポート
13	8月27日	講義・演習	舞台美術の実践　木工美術①	レポート
14	9月10日	講義・演習	舞台美術の実践　木工美術②	レポート
15	9月17日	講義・演習	舞台美術の実践　木工美術③	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	舞台概論(4)	必修選択	選択必修	年次	2	担当教員	飯塚幸之介
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	舞台制作・舞台監督として数々の現場を担当。						
授業の学習内容	演出機材の基礎を学ぶ 上演されるものについての基礎を学ぶ スタッフの業務内容を学ぶ 舞台を作り上げていく上での考え方を学ぶ						
到達目標	舞台を作り上げていく上での考え方を身につける 舞台上演前の準備が出来るようになる 協力して舞台の現場を作る力を身につける						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	前期を振り返り、後期の目標を立てる	レポート
2	10月15日	講義・演習	具体的な演出①喜劇について	レポート
3	10月22日	講義・演習	具体的な演出②悲劇について	レポート
4	10月29日	講義・演習	具体的な演出③ミュージカルについて	レポート
5	11月5日	講義・演習	具体的な演出④コンサートについて	レポート
6	11月12日	講義・演習	具体的な演出⑤笑いについて	レポート
7	11月19日	講義・演習	実際のイベントを元に舞台監督の準備を学ぶ	レポート
8	11月26日	講義・演習	脚本を理解する	レポート
9	12月3日	講義・演習	演出について学ぶ	レポート
10	12月10日	講義・演習	演出の方法を理解する①	レポート
11	12月17日	講義・演習	演出の方法を理解する②	レポート
12	1月14日	講義・演習	演出の方法を理解する③	レポート
13	1月21日	講義・演習	演習①	レポート
14	2月4日	講義・演習	演習②	レポート
15	2月11日	講義・演習	演習③	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	音響電気知識舞台技能調整技能士(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	小瀬高夫
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間(単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	一級舞台機構調整技能士として活動						
授業の学習内容	音の性質、音響心理、電気の基礎、アース、ノイズ、電気音響機器、楽器音、音楽の判断、基本PAセット組み上げおよび調整 板書き以外もメモを取る						
到達目標	3級舞台機構調整技能士(厚生労働省)取得できる。基本PAセットを組み上げ調整出来る様になる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	授業の進め方、教科書、3級舞台機構調整技能士の理解	シラバス、教科書、確認しておく事。
2	4月24日	講義・演習	R6筆記試験解答　実技実習を実践する	本日の予習
3	5月8日	講義・演習	R5筆記試験解答　実技実習を実践する	先週の復習、本日の予習
4	5月15日	講義・演習	R4筆記試験解答　実技実習を実践する	先週の復習、本日の予習
5	5月22日	講義・演習	R3筆記試験解答　実技実習を実践する	先週の復習、本日の予習
6	5月29日	講義・演習	R2筆記試験解答　実技実習を実践する	先週の復習、本日の予習
7	6月5日	講義・演習	H31筆記試験解答　実技実習を実践する	先週の復習、本日の予習
8	6月12日	講義・演習	H30筆記試験解答　実技実習を実践する	先週の復習、本日の予習
9	6月19日	講義・演習	H29筆記試験解答　実技実習を実践する	先週の復習、本日の予習
10	7月3日	講義・演習	H28筆記試験解答　実技実習を実践する	先週の復習、本日の予習
11	7月10日	講義・演習	H27筆記試験解答　実技実習を実践する	先週の復習、本日の予習
12	7月17日	講義・演習	H26筆記試験解答　実技実習を実践する	先週の復習、本日の予習
13	8月21日	講義・演習	期末試験(筆記、実技)	前期の復習、期末試験
14	8月28日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して電気知識を学ぶ	レポートの提出
15	9月11日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して電気知識を学ぶ	レポートの提出
準備学習　時間外学習			現場に積極的に参加する事。予習、復習を必ず行う事。体調管理しっかりする事。	

【使用教科書・教材・参考書】

PA入門三訂版、ステージ、PA、照明用語事典、舞台音響技能検定過去問題ナビゲーション3級

科目名	コンサートテクニック(3) Concert PA Technique（3）	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	西海 英志 須藤 浩 原嶋 紘平 杉田 達矢
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 （単位）	150 （10単位）		
教員の略歴	PAエンジニア/オペレーターとして活動						
授業の学習 内容	イベントの1日の流れを把握し、他のセクションとコミュニケーションをとりながら音響だけではなく、他の動きも把握し、 イベントによって異なる音響を学ぶ						
到達目標	仕込み・RH・本番・バラシまでに1日の流れの把握・プラン表や当日までの資料作りが出来るようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	ライブ・PA実践、仕込みについて理解する	プラン作り・打ち合わせ
2	5月13日	講義・演習	バンド系イベントのPAについて理解する	プラン作り・打ち合わせ
3	5月20日	講義・演習	外部ホールの構造を理解する	プラン作り・打ち合わせ
4	5月27日	講義・演習	アイドル系のイベントについて理解する	プラン作り・打ち合わせ
5	6月3日	講義・演習	カラオケ音源のLIVEの実践 外部ホールの本番を理解する	プラン作り・打ち合わせ
6	6月10日	講義・演習	学内イベント　他セクションとのイベントを行う	プラン作り・打ち合わせ
7	6月17日	講義・演習	オムニバス形式のライブPAについて理解する	プラン作り・打ち合わせ
8	6月24日	講義・演習	バンドPAの実践 外部ホールのバラシについて理解する	プラン作り・打ち合わせ
9	7月1日	講義・演習	制作したプラン図をもとにプレゼンテーションする	プラン作り・打ち合わせ
10	7月8日	講義・演習	バンドライブPAについて理解する	プラン作り・打ち合わせ
11	7月15日	講義・演習	カラオケ音源のLIVE PAについて理解する	プラン作り・打ち合わせ
12	7月22日	講義・演習	演劇音響について理解する	プラン作り・打ち合わせ
13	8月26日	講義・演習	アイドルイベントの実践 前期試験	前期復習
14	9月9日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台音響を学ぶ	レポート提出
15	9月16日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台音響を学ぶ	レポート提出
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	コンサートテクニック(3) Concert LT Technique(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	川谷祐之
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間(単位)	150 (10単位)		
教員の略歴	舞台照明プランナー・オペレーターとして活動						
授業の学習内容	ただ自分の作りたい照明を作るのではなく、色々な立場に立って照明を作れるようにする						
到達目標	多くの観客が納得し、各イベントに合った照明を作れるようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	自己紹介～機材・システム案内～簡単な仕込み指導	照明機材仕込み
2	5月13日	講義・演習	ホールの仕組みを理解する	資料解読(ホール実習)
3	5月20日	講義・演習	後輩を指導し自分たちのやりたい照明を作る	照明機材仕込み・明かり打ち込み(音テクイベント)
4	5月27日	講義・演習	ホールで他セクションとコミュニケーションをとり照明の仕事をする①	チーフは、事前に仕込み図を描く。仕込み図解読・仕込打ち合わせ(ホール実習)
5	6月3日	講義・演習	技術を盛り込みバンドの照明を作る	課題曲に対する譜割り(プロミイベント)
6	6月10日	講義・演習	ホールで他セクションとコミュニケーションをとり照明の仕事をする②	チーフは、事前に仕込み図を描く。仕込み図解読・仕込打ち合わせ(ホール実習)
7	6月17日	講義・演習	「観せる」という観点でテーマに合った照明を作る	課題曲に対する譜割り(自主企画イベント)
8	6月24日	講義・演習	ホールで他セクションとコミュニケーションをとり照明の仕事をする③	チーフは、事前に仕込み図を描く。仕込み図解読・仕込打ち合わせ(ホール実習)
9	7月1日	講義・演習	「観せる」という観点でテーマに合った照明を作る2	課題曲に対する譜割り(自主企画イベント)
10	7月8日	講義・演習	求められたものに答え、かつ自分の表現も盛り込んだ照明を作る	課題曲に対する譜割り(自主企画イベント)
11	7月15日	講義・演習	「観せる」という観点でアニソンの照明を作る	課題曲に対する譜割り(アクターliveゼミ)
12	7月22日	講義・演習	自分のアイディアを盛り込んだ仕込図を描く 技術を盛り込んだ照明を作る	照明機材仕込み(学園祭シミュレーション)
13	8月26日	講義・演習	前期で習得した技術をすべて盛り込んだ照明を披露する	照明機材仕込み・打ち込み(プロミイベント)
14	9月9日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して照明演出を学ぶ	レポート
15	9月16日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して照明演出を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習			闇雲に仕込むのではなく、照明効果を意識する	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	コンサートテクニック(3) Concert STAGE Technique(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	井上陽介
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)		
教員の略歴	舞台監督として活動						
授業の学習 内容	舞台制作、進行、演出、施工等を講義と実践的に学び、体験しそれぞれ自分の目的や適合性を考える。 現場のシミュレーション体験を通じて社会のルールやマナー、チームワークや厳しさ、楽しさを学ぶ事を目指します。						
到達目標	授業を通じて団体行動、情報収集、技術的な能力を身に付け、スキルアップを目指す。また細分化された業種の中から自分に何が合っているかを見つける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月15日	講義・演習	オリエンテーション、コミュニケーション、注意事項、軽作業、概要説明	生徒同士での情報交換、コミュニケーション
2	5月13日	講義・演習	舞台の業務内容、危険回避、事故例などを知り、理解する	資料の整理、作成
3	5月20日	講義・演習	資料の作成、過去のイベントの資料整理や確認する	資料の整理、作成
4	5月27日	講義・演習	外部ホールの予習、資料作り 舞台の基本を理解する	資料の整理、作成
5	6月3日	講義・演習	外部ホール　実際の舞台機構を理解する	工具や必要品の準備など
6	6月10日	講義・演習	外部ホールの復習し、理解を深める	課題の確認、不明点の確認など
7	6月17日	講義・演習	外部ホールの課題を確認する	工具や必要品の準備など
8	6月24日	講義・演習	校内イベントを通して資料を制作する	資料の整理、作成
9	7月1日	講義・演習	校内イベントの振り返りし、理解を深める	課題の確認、不明点の確認など
10	7月8日	講義・演習	外部ホールの予習、資料作り　舞台機構の応用を理解する	資料の整理、作成
11	7月15日	講義・演習	外部ホール 実際の舞台での作業をする	工具や必要品の準備など
12	7月22日	講義・演習	外部ホールの課題確認をし、問題点をあげる	課題の確認、不明点の確認など
13	8月26日	講義・演習	テスト	課題の確認、不明点の確認など
14	9月9日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して舞台進行を学ぶ	レポート提出
15	9月16日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して舞台進行を学ぶ	レポート提出
準備学習　時間外学習			各週授業にのぞむための予習もしくは授業後の復習として取り組むこと	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	コンサートテクニック(4) Concert PA Technique（4）	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	西海英志 須藤浩 原嶋紘平 杉田達矢
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部ー)	授業 形態	講義・演習	総時間 （単位）	150 （10単位）		
教員の略歴	PAエンジニア/オペレーターとして活動						
授業の学習 内容	イベントの1日の流れを把握し、他のセクションとコミュニケーションをとりながら音響だけではなく、他の動きも把握し、 イベントよって異なる音響を学ぶ						
到達目標	仕込み・RH・本番・バラシまでに1日の流れの把握・プラン表や当日までの資料作りが出来るようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	次週のシミュレーション・打ち合わせを行う	プラン作り・打ち合わせ
2	10月21日	講義・演習	野外イベントにおけるPAについて理解する	プラン作り・打ち合わせ
3	10月28日	講義・演習	バンドライブのPAについて理解する	プラン作り・打ち合わせ
4	11月4日	講義・演習	カラオケ音源のLIVE　PAについて理解する	プラン作り・打ち合わせ
5	11月11日	講義・演習	仕込みプランの講評を行う	プラン作り・打ち合わせ
6	11月18日	講義・演習	バンドライブのPAについて理解する	プラン作り・打ち合わせ
7	11月25日	講義・演習	外部ホールのバラシについて理解する	プラン作り・打ち合わせ
8	12月2日	講義・演習	オムニバス形式のライブPAについて理解する	プラン作り・打ち合わせ
9	12月9日	講義・演習	バンド課題楽曲に対するオペレート① オペ卓を触る	プラン作り・打ち合わせ
10	12月16日	講義・演習	バンド課題楽曲に対するオペレート② モニター卓を触る	プラン作り・打ち合わせ
11	1月13日	講義・演習	システムチェックについて理解する	プラン作り・打ち合わせ
12	1月20日	講義・演習	外部ホールでのダンスPAについて理解する	プラン作り・打ち合わせ
13	2月3日	講義・演習	外部ホールにてバンドPAについて理解する	プラン作り・打ち合わせ
14	2月10日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して舞台音響を学ぶ	レポート提出
15	2月17日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して舞台音響を学ぶ	レポート提出
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	コンサートテクニック(4) Concert LT Technique(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	川谷祐之
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部一)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	150 (10単位)		
教員の略歴	舞台照明プランナー・オペレーターとして活動						
授業の学習 内容	想像力を豊かに持ち、他セクションと話し合い、意見をぶつけ、より良いイベントを創る						
到達目標	照明の構成を、イベント全体のコンセプトを踏まえ、多くの観客が感動し、笑顔になれるショーを作れるようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	仕込みアレンジ・特殊仕込みを考える	仕込み図解読
2	10月21日	講義・演習	前期までに学んだことをすべて盛り込んで照明を作る	仕込み・譜割り・明り作り
3	10月28日	講義・演習	曲に対する自分のイメージを明りで表現する	仕込み・譜割り・明り作り
4	11月4日	講義・演習	同じ課題曲で照明を作り人の感性を感じる	照明機材仕込み・打ち込み
5	11月11日	講義・演習	個性を盛り込んだショーパッケージを作る	仕込み・譜割り・明り作り
6	11月18日	講義・演習	観客の立場に立ってショーパッケージの照明を作る	仕込み・譜割り・明り作り
7	11月25日	講義・演習	観客の立場に立ってアニソンの照明を作る	課題曲に対する譜割り
8	12月2日	講義・演習	観客の立場に立ってショーパッケージの照明を作る	仕込み・譜割り・明り作り
9	12月9日	講義・演習	イベントのための事前準備打ち込み	仕込み・譜割り・明り作り
10	12月16日	講義・演習	イベント実践（we are TSM）を通して舞台照明を学ぶ	仕込み・譜割り・明り作り
11	1月13日	講義・演習	イベントのための事前準備打ち込み	仕込み・譜割り・明り作り
12	1月20日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して舞台照明を学ぶ	課題曲に対する譜割り
13	2月3日	講義・演習	自由に作った照明のダメ出し、作り直し・違いを体感	照明機材仕込み・打ち込み
14	2月10日	講義・演習	2年間で身につけた技術を使って自由に照明を作る	照明機材仕込み・打ち込み
15	2月17日	講義・演習	イベント実践(we are TSM!)を通して舞台照明を学ぶ	課題曲に対する譜割り・練習
準備学習　時間外学習			闇雲に仕込むのではなく、照明効果を意識する	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	コンサートテクニック(4) Concert STAGE Technique(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	井上陽介
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	120 (8単位)		
教員の略歴	舞台監督として活動						
授業の学習内容	舞台制作、進行、演出、施工等を講義と実践的に学び、体験しそれぞれ自分の目的や適合性を考える。 現場のシミュレーション体験を通じて社会のルールやマナー、チームワークや厳しさ、楽しさを学ぶ事を目指します。						
到達目標	授業を通じて団体行動、情報収集、技術的な能力を身に付け、スキルアップを目指す。また細分化された業種の中から自分に何が合っているかを見つける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月14日	講義・演習	前期の復習　校内イベント向けたチーム分け	課題の確認、不明点の確認
2	10月21日	講義・演習	校内イベント資料制作　工具を理解する	工具や必要品の準備
3	10月28日	講義・演習	校内イベント　実践的に学ぶ	資料の整理、作成
4	11月4日	講義・演習	校内イベントの振り返りをし、問題点を理解する	課題の確認、不明点の確認
5	11月11日	講義・演習	外部ホール　実際の舞台機構を触る	工具や必要品の準備
6	11月18日	講義・演習	外部ホールの復習をし、想定される危険を理解する	課題の確認、不明点の確認
7	11月25日	講義・演習	校内イベントを通して資料制作を行う	工具や必要品の準備
8	12月2日	講義・演習	校内イベントを実践的に行い個々のレベルを知る	資料の整理、作成
9	12月9日	講義・演習	校内イベントの反省点をプレゼンテーションする	課題の確認、不明点の確認
10	12月16日	講義・演習	ホール実習の予習、資料作り　舞台の基本を説明できるようにする	資料の整理、作成
11	1月13日	講義・演習	外部ホール　実際の舞台にて構造を理解する	工具や必要品の準備など
12	1月20日	講義・演習	外部ホールの復習し、演出を考える	課題の確認、不明点の確認など
13	2月3日	講義・演習	テスト	課題の確認、不明点の確認など
14	2月10日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して舞台演出を学ぶ	レポート
15	2月17日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して舞台演出を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習			各週授業にのぞむための予習もしくは授業後の復習として取り組むこと	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	照明概論(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	林之弘
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部ー)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	照明実務経験40年、日本照明家協会1級技能士として活動						
授業の学習内容	①職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につける ②照明概論 ③現場のルールとともに舞台照明に関する知識と技能を習得する。						
到達目標	中間公演に向け、技術のスキルアップと後輩の指導						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月17日	講義・演習	授業ガイダンスと就職に向けて	初回につき事前準備無し
2	4月24日	講義・演習	舞台現場で使われる資料	
3	5月8日	講義・演習	光について	テキストP141～P148
4	5月15日	講義・演習	色について	テキストP154～P156
5	5月22日	講義・演習	コンソールの基礎	テキストP141～P149
6	5月29日	講義・演習	ヴィジュアライザーソフト①基本が理解できる	L8インストールPCが必要
7	6月5日	講義・演習	ヴィジュアライザーソフト②作図できる	L8インストールPCが必要
8	6月12日	講義・演習	ヴィジュアライザーソフト③パッチができる	L8インストールPCが必要
9	6月19日	講義・演習	ネットワークを使用したDMX接続	テキストP141～P149
10	7月3日	講義・演習	劇場の歴史	テキストP141～P149
11	7月10日	講義・演習	上演芸術の歴史	テキストP141～P149
12	7月17日	講義・演習	テレビの歴史	テキストP141～P149
13	8月21日	講義・演習	前期まとめ	レポート
14	8月28日	講義・演習	前期まとめテスト	レポート
15	9月11日	講義・演習	作品鑑賞	レポート
準備学習　時間外学習			教室外でも一人で進められる調査研究を時間外学習として進めます。	

【使用教科書・教材・参考書】

舞台・テレビジョン照明＜基礎編＞2021 /　舞台・テレビジョン照明技術者　技能認定試験問題集《2級》2022改訂版

科目名	照明概論(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	林之弘
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30（2単位）		
教員の略歴	照明実務経験40年、日本照明家協会1級技能士として活動						
授業の学習内容	①職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につける ②照明概論 ③現場のルールとともに舞台照明に関する知識と技能を習得する。						
到達目標	日本照明家協会技能認定2級試験合格						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月2日	講義・演習	技能認定試験対策授業1	問題集P1～3、P13～P15
2	10月16日	講義・演習	技能認定試験対策授業2	問題集P16～20
3	10月30日	講義・演習	技能認定試験対策授業3	問題集P21～25
4	11月6日	講義・演習	技能認定試験対策授業4	問題集P26～P37
5	11月13日	講義・演習	技能認定試験対策授業5	問題集P38～P47
6	11月20日	講義・演習	技能認定試験対策授業6	問題集P69～P74
7	11月27日	講義・演習	技能認定試験対策授業7	問題集P75～P83
8	12月4日	講義・演習	技能認定試験対策授業8	問題集P95～P99
9	12月11日	講義・演習	技能認定試験対策授業9	問題集P100～P104
10	12月18日	講義・演習	技能認定試験対策授業10	問題集P110～P114
11	1月15日	講義・演習	技能認定試験対策授業11	問題集P119～P126
12	1月22日	講義・演習	技能認定試験	
13	2月5日	講義・演習	卒業制作公演の実務　1	レポート
14	2月12日	講義・演習	卒業制作公演の実務　2	レポート
15	2月19日	講義・演習	卒業制作公演の実務　3	レポート
準備学習　時間外学習			教室外でも一人で進められる調査研究を時間外学習として進めます。	

【使用教科書・教材・参考書】

舞台・テレビジョン照明＜基礎編＞2021 /　舞台・テレビジョン照明技術者　技能認定試験問題集《2級》2022改訂版

科目名	VectorWorks Advance(3) Technical Advance(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	矢吹百合子
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	舞台美術デザイナー　コンサートのセットデザインを中心に活動						
授業の学習内容	業界内においては、スタッフはVectorworksを扱える事が最早必須事項となっています。 高度な設計シミュレーションソフトであるVectorworksについて学び、スキルを身に着けることで、業界への就業の間口を広くする事が出来ます。						
到達目標	■Vectorworksはどのようなソフトかを理解する ■平面図を書けるようになる ■測量したものをコンピュータで図面化出来る ■劇場設備について理解出来るようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	自己紹介～Vectorworksの仕組み・ システムの解説から使用方法を理解する	図面作成/レポート
2	5月7日	講義・演習	使用ソフトの基本説明を行い基本の操作方法を学ぶ	図面作成/レポート
3	5月14日	講義・演習	2Dシミュレーションの基本(1) 2Dシミュレーションの基礎の作図方法を学ぶ	図面作成/レポート
4	5月21日	講義・演習	学園祭図面作成(1) 会場測量を行い実物と縮尺の違いを学ぶ	図面作成/レポート
5	5月28日	講義・演習	学園祭図面作成(2) 測量した会場の作図を行う舞台のツールを学ぶ	図面作成/レポート
6	6月4日	講義・演習	学園祭図面作成(3) 測量した会場の作図を行うステージ・バトンの書き方を学ぶ	図面作成/レポート
7	6月11日	講義・演習	劇場の図面作成(1) 劇場の設備を理解する	図面作成/レポート
8	6月18日	講義・演習	劇場の図面作成(2) 実際の劇場図面を作図し劇場機構の仕組みを学ぶ	図面作成/レポート
9	6月25日	講義・演習	製作物のデザインと図面作成(1) 平面図を書く事ができる	図面作成/レポート
10	7月2日	講義・演習	製作物のデザインと図面作成(2) セットデザインを実際の劇場に当て込み検証し理解する	図面作成/レポート
11	7月9日	講義・演習	図面作成(1) ミュージカルの舞台図面を書き起こす	図面作成/レポート
12	7月16日	講義・演習	図面作成(2) ミュージカルの舞台図面を作図する	図面作成/レポート
13	8月27日	講義・演習	図面作成(3) 舞台図面を仕込み図に変換する方法を学ぶ	図面作成/レポート
14	9月10日	講義・演習	イベント(明日への扉)実践を通して作図を学ぶ	レポート
15	9月17日	講義・演習	イベント(明日への扉)実践を通して作図を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

適宜資料を配布

科目名	VectorWorks Advance(3) STAGE Advance(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	矢吹百合子
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60 （4単位）		
教員の略歴	舞台美術デザイナー　コンサートのセットデザインを中心に活動						
授業の学習内容	業界内においては、スタッフはVectorworksを扱える事が最早必須事項となっています。 高度な設計シミュレーションソフトであるVectorworksについて学び、スキルを身に着けることで、業界への就業の間口を広くする事が出来ます。						
到達目標	■Vectorworksはどのようなソフトかを理解する ■平面図を書けるようになる ■測量したものをコンピュータで図面化出来る ■劇場設備について理解出来るようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	自己紹介～Vectorworksの仕組み・ システムの解説から使用方法を理解する	図面作成/レポート
2	5月7日	講義・演習	使用ソフトの基本説明を行い基本の操作方法を学ぶ	図面作成/レポート
3	5月14日	講義・演習	2Dシミュレーションの基本(1) 2Dシミュレーションの基礎の作図方法を学ぶ	図面作成/レポート
4	5月21日	講義・演習	学園祭図面作成(1) 会場測量を行い実物と縮尺の違いを学ぶ	図面作成/レポート
5	5月28日	講義・演習	学園祭図面作成(2) 測量した会場の作図を行う舞台のツールを学ぶ	図面作成/レポート
6	6月4日	講義・演習	学園祭図面作成(3) 測量した会場の作図を行うステージ・バトンの書き方を学ぶ	図面作成/レポート
7	6月11日	講義・演習	劇場の図面作成(1) 劇場の設備を理解する	図面作成/レポート
8	6月18日	講義・演習	劇場の図面作成(2) 実際の劇場図面を作図し劇場機構の仕組みを学ぶ	図面作成/レポート
9	6月25日	講義・演習	製作物のデザインと図面作成(1) 平面図を書く事ができる	図面作成/レポート
10	7月2日	講義・演習	製作物のデザインと図面作成(2) セットデザインを実際の劇場に当て込み検証し理解する	図面作成/レポート
11	7月9日	講義・演習	図面作成(1) ミュージカルの舞台図面を書き起こす	図面作成/レポート
12	7月16日	講義・演習	図面作成(2) ミュージカルの舞台図面を作図する	図面作成/レポート
13	8月27日	講義・演習	図面作成(3) 舞台図面を仕込み図に変換する方法を学ぶ	図面作成/レポート
14	9月10日	講義・演習	イベント(明日への扉)実践を通して作図を学ぶ	レポート
15	9月17日	講義・演習	イベント(明日への扉)実践を通して作図を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

適宜資料を配布

科目名	VectorWorks Advance(4) Technical Advance(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	矢吹百合子
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	舞台美術デザイナー　コンサートのセットデザインを中心に活動						
授業の学習内容	業界内においては、スタッフはVectorworksを扱える事が最早必須事項となっています。 高度な設計シミュレーションソフトであるVectorworksについて学び、スキルを身に着けることで、業界への就業の間口を広くする事が出来ます。						
到達目標	■Vectorworksはどのようなソフトかを理解する ■平面図を書けるようになる ■測量したものをコンピュータで図面化出来る ■劇場設備について理解出来るようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	ハロウィンの装飾デザイン(1) ハロウィン装飾のデザインを考案する	図面作成/レポート
2	10月15日	講義・演習	ハロウィンの装飾デザイン(2) ハロウィン装飾の作図し模擬コンペを行う	図面作成/レポート
3	10月22日	講義・演習	3Dシミュレーションの基本(2) 3Dへの変換方法を学び実際に図面を作成する	図面作成/レポート
4	10月29日	講義・演習	3Dシミュレーションのまとめ(1)3Dの見え方を学ぶ 光源による見え方の違いを理解する	図面作成/レポート
5	11月5日	講義・演習	劇場の3D作成(1) 実際の劇場を2Dから3Dに立ち上げる方法を学ぶ	図面作成/レポート
6	11月12日	講義・演習	劇場の3D作成(2) 3D変換された図面の検証方法を学ぶ	図面作成/レポート
7	11月19日	講義・演習	劇場の3D作成(3) 検証結果を基に総合的なイメージを作る	図面作成/レポート
8	11月26日	講義・演習	3Dシミュレーションのまとめ(2) テクスチャ設定を行い説得力のあるレンダリング結果を得る方法を学ぶ	図面作成/レポート
9	12月3日	講義・演習	クリスマスの装飾デザイン(1) 2Dでデザインと設計図を作る方法を学ぶ	図面作成/レポート
10	12月10日	講義・演習	クリスマスの装飾デザイン(2) 2D→3Dモデリングの編集方法を学ぶ	図面作成/レポート
11	12月17日	講義・演習	We are TSMに向けて　装飾デザイン プレゼンボードの作成方法を学ぶ	図面作成/レポート
12	1月14日	講義・演習	We are TSMに向けて　図面作成(1) 実際にイベントで使用する劇場の平面図を作図する。	図面作成/レポート
13	1月21日	講義・演習	We are TSMに向けて　図面作成(2) 実際にイベントで使用する仕込み図面を作図する。	図面作成/レポート
14	2月4日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して作画を学ぶ	レポート
15	2月11日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して作画を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

適宜資料を配布

科目名	VectorWorks Advance(4) STAGE Advance(4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	矢吹百合子
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60 （4単位）		
教員の略歴	舞台美術デザイナー　コンサートのセットデザインを中心に活動						
授業の学習内容	業界内においては、スタッフはVectorworksを扱える事が最早必須事項となっています。 高度な設計シミュレーションソフトであるVectorworksについて学び、スキルを身に着けることで、業界への就業の間口を広くする事が出来ます。						
到達目標	■Vectorworksはどのようなソフトかを理解する ■平面図を書けるようになる ■測量したものをコンピュータで図面化出来る ■劇場設備について理解出来るようになる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容

回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月1日	講義・演習	ハロウィンの装飾デザイン(1) ハロウィン装飾のデザインを考案する	図面作成/レポート
2	10月15日	講義・演習	ハロウィンの装飾デザイン(2) ハロウィン装飾の作図し模擬コンペを行う	図面作成/レポート
3	10月22日	講義・演習	3Dシミュレーションの基本(2) 3Dへの変換方法を学び実際に図面を作成する	図面作成/レポート
4	10月29日	講義・演習	3Dシミュレーションのまとめ(1)3Dの見え方を学ぶ 光源による見え方の違いを理解する	図面作成/レポート
5	11月5日	講義・演習	劇場の3D作成(1) 実際の劇場を2Dから3Dに立ち上げる方法を学ぶ	図面作成/レポート
6	11月12日	講義・演習	劇場の3D作成(2) 3D変換された図面の検証方法を学ぶ	図面作成/レポート
7	11月19日	講義・演習	劇場の3D作成(3) 検証結果を基に総合的なイメージを作る	図面作成/レポート
8	11月26日	講義・演習	3Dシミュレーションのまとめ(2) テクスチャ設定を行い説得力のあるレンダリング結果を得る方法を学ぶ	図面作成/レポート
9	12月3日	講義・演習	クリスマスの装飾デザイン(1) 2Dでデザインと設計図を作る方法を学ぶ	図面作成/レポート
10	12月10日	講義・演習	クリスマスの装飾デザイン(2) 2D→3Dモデリングの編集方法を学ぶ	図面作成/レポート
11	12月17日	講義・演習	We are TSMに向けて　装飾デザイン プレゼンボードの作成方法を学ぶ	図面作成/レポート
12	1月14日	講義・演習	We are TSMに向けて　図面作成(1) 実際にイベントで使用する劇場の平面図を作図する。	図面作成/レポート
13	1月21日	講義・演習	We are TSMに向けて　図面作成(2) 実際にイベントで使用する仕込み図面を作図する。	図面作成/レポート
14	2月4日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して作画を学ぶ	レポート
15	2月11日	講義・演習	イベント実践(we are TSM)を通して作画を学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習				

【使用教科書・教材・参考書】

適宜資料を配布

科目名	ムービングAdvance (3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	橋本真也
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	(株)PACを経てフリー、その後EIRsWork合同会社設立。様々なイベントのLTプラン・オペレート・演出を行う。						
授業の学習内容	ムービングライトやフィクスチャーをメインに、その特性と機能を学ぶ。						
到達目標	仕込みに応じて、パッチの変更、設定が出来るようにする。 エフェクトを利用した、様々なシーンの作成。 細かな機能を覚えることにより、スムーズにシーンの作成、修正ができるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	1年次の復習を行う	レポート□
2	4月25日	講義・演習	patch、stage、PanTilt設定を学ぶ	レポート□
3	5月9日	講義・演習	patch、attribute設定関連、macroを学ぶ	レポート□
4	5月16日	講義・演習	SHOW作成を一人ずつ行う	レポート□
5	5月23日	講義・演習	メンテナンス、ムービング本体設定を学ぶ	レポート□
6	5月30日	講義・演習	Effect応用を学ぶ	レポート□
7	6月6日	講義・演習	Preset filter、Update option、Store optionを学ぶ	レポート□
8	6月13日	講義・演習	小復習	レポート□
9	6月20日	講義・演習	ATcopy、Master関連、freezeを学ぶ	レポート□
10	7月4日	講義・演習	individual Time、Fade,Delayを学ぶ	レポート□
11	7月11日	講義・演習	MA1,3について学ぶ	レポート□
12	7月18日	講義・演習	GrandMA3D SHOW作成の実習	レポート□
13	8月22日	講義・演習	テスト、SHOW作成関連の実習	レポート□
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してムービングの効果的使用方法を学ぶ	レポート□
15	9月12日	講義・演習	イベント実践を通してムービングの効果的使用方法を学ぶ	レポート□
準備学習　時間外学習			基本的にレポート等にまとめてアウトプット。可能であればonPCを利用して復習。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	ムービングAdvance (4)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	橋本真也
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	60（4単位）		
教員の略歴	（株）PACを経てフリー、その後EIRsWork合同会社設立。様々なイベントのLTプラン・オペレート・演出を行う。						
授業の学習内容	ムービングライトやフィクスチャーをメインに、その特性と機能を学ぶ。						
到達目標	各種機能への理解を深め、ビジュアライザーを使い、多い台数への対応。 明かりのバランス、シーンの構成を考慮し、ムービングライトを使用するポイントを考える。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	前期復習、明かりのバランスを考える	レポート□
2	10月10日	講義・演習	ビジュアライザーを使ってMAtricksなどの実習	レポート□
3	10月17日	講義・演習	Fixture data作成を行う	レポート□
4	10月31日	講義・演習	仕込みに関して学ぶ	レポート□
5	11月7日	講義・演習	DMXin, Ethernetを学ぶ	レポート□
6	11月14日	講義・演習	Avo、onPCを学ぶ	レポート□
7	11月21日	講義・演習	Setupに関して詳しく学ぶ	レポート□
8	11月28日	講義・演習	小復習	レポート□
9	12月5日	講義・演習	mode3について学ぶ	レポート□
10	12月12日	講義・演習	復習	レポート□
11	12月19日	講義・演習	課題明かり作りの実践	ディスカッション
12	1月16日	講義・演習	課題明かり作りの実践	ディスカッション
13	1月23日	講義・演習	テスト、明かり作りの実践	ディスカッション
14	1月30日	講義・演習	イベント実践（We are TSM!）を通して効果的使用方法を学ぶ	レポート□
15	2月13日	講義・演習	イベント実践（We are TSM!）を通して効果的使用方法を学ぶ	レポート□
準備学習　時間外学習			基本的にレポート等にまとめてアウトプット。可能であればonPCを利用して復習。	

【使用教科書・教材・参考書】

科目名	楽器/機材知識(3)	必修選択	選択	年次	2	担当教員	北英樹
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部一)	授業形態	講義・演習	総時間（単位）	30 (2単位)		
教員の略歴	舞台監督・楽器テクニシャンとして活動						
授業の学習内容	①様々な楽器の基礎知識について理解する ②音楽が存在する科目全てに関連している ③音楽業界に於いて最低限必要な楽器に関する知識を1 年生時に学んだ事を基本として 更に詳しい知識を習得し将来の即戦力につなげる						
到達目標	音楽業界に就職する上で必ず必要になる楽器の知識を身につけ、細部にわたる機材の名称 構造 等を身につけ、答えられるようになる。楽器は大切に愛情を持って丁寧に扱うことができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習　時間外学習(学習課題)
1	4月16日	講義・演習	セット図作成方法機材リスト作成方法について理解する□	セッティング図 機材リストについて1年時の資料を調べる
2	5月7日	講義・演習	譜面とは何かを知り確実に理解して扱う事　について理解する	譜面について調べる
3	5月14日	講義・演習	DRUMSに関する事を再度理解する	DRUMSに関する 1年時の授業内容の復習
4	5月21日	講義・演習	電子打楽器に関する事を理解する	電子打楽器について調べる
5	5月28日	講義・演習	MIDI システム に関する事を理解する	MIDIについて調べる
6	6月4日	講義・演習	KEYBOARDに関する事を再度理解する	KEYBOARDに関する 1年時の授業内容の復習
7	6月11日	講義・演習	KEYBOARDに関する事を再度理解する	KEYBOARDに関する 1年時の授業内容の復習
8	6月18日	講義・演習	PIANO に関する事を再度理解する	PIANOに関する 1年時の授業内容の復習
9	6月25日	講義・演習	ギター・ベースに関する事を再度理解する	ギター ベースに関する 1年時の授業内容の復習
10	7月2日	講義・演習	アンプ関する事を再度理解する	アンプに関する 1年時の授業内容の復習
11	7月9日	講義・演習	弦楽器関する事を再度理解する	弦楽器に関する 1年時の授業内容の復習
12	7月16日	講義・演習	楽器全てに関する事を再度理解する	全ての授業内容の復習
13	8月27日	講義・演習	前期テスト　実技及び筆記	レポート
14	9月10日	講義・演習	学内イベント実践を通じて現場でのテックを再度学ぶ	レポート
15	9月17日	講義・演習	学内イベント実践を通じて現場でのテックを再度学ぶ	レポート
準備学習　時間外学習			準備学習 各授業のテーマを調べて下さい　時間外学習 授業日の曜日に必ず復習して下さい	

【使用教科書・教材・参考書】

教材　学内に有る 全ての 楽器を使用して授業を行う